

奈良市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定のための

# 高齢者 在宅介護実態調査

【結果報告書】

平成29年11月

奈良市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的 .....	1
2. 調査対象 .....	1
3. 調査期間と調査方法 .....	1
4. 回収結果 .....	1
5. 報告書の見方 .....	1
6. 集計・分析における留意点 .....	2
<b>II 調査の結果</b> .....	<b>3</b>
1. 基本的事項 .....	3
(1) 調査対象者の性別 .....	3
(2) 調査対象者の年齢 .....	4
(3) 要介護度 .....	5
(4) 生活圏域 .....	6
(5) サービス利用の組み合わせ .....	7
(6) 認知症自立度 .....	8
2. 認定調査対象者について .....	9
(1) 世帯類型 .....	9
(2) 週あたりの介護頻度 .....	11
(3) 主な介護者 .....	13
(4) 主な介護者の性別 .....	14
(5) 主な介護者の年齢 .....	14
(6) 主な介護者が行っている介護等について .....	16
(7) 過去1年間に仕事を辞めた人がいるか .....	18
(8) 利用している介護保険サービス以外の支援・サービス .....	19
(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス .....	22
(10) 現時点での施設等への入所・入居の検討状況 .....	26
(11) 対象者が現在抱えている傷病 .....	27
(12) 訪問診療を利用しているか .....	29
(13) 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況 .....	30
(14) 介護保険サービスを利用していない理由 .....	31
(15) 家族以外で相談する相手 .....	33
(16) 日ごろの楽しみ .....	36
3. 主な介護者について .....	39
(1) 介護者の勤務形態 .....	39
(2) 働き方についての調整等の状況 .....	42
(3) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援 .....	44
(4) 今後も働きながら介護を続けていけるか .....	46
(5) 介護者が不安に感じる介護等について .....	47

<b>Ⅲ 要点課題の概要と考察</b> .....	<b>50</b>
○在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 .....	50
○仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 .....	50
○保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 .....	51
○将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 .....	52
○医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 .....	52
<b>資料（調査票）</b> .....	<b>53</b>

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

この調査は、第7期介護保険事業計画の策定にあたって、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込み、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

## 2. 調査対象

- ・市内の在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている人 800人

## 3. 調査期間と調査方法

- ・調査期間：平成29年6月5日～平成29年6月19日
- ・調査方法：郵送による発送、回収

## 4. 回収結果

配布数	回収数	無効数	有効回答数	有効回答率
800	333	24*	309	38.6%

※無効数の内訳：白票…6件、無効票（入院中等の記載あり）…18件

## 5. 報告書の見方

- (1) 回答は各設問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が総数と一致しない場合があります。
- (2) 複数回答を可能とした設問では、回答比率の合計が100%を超える場合があります。本文中、表やグラフに次にあげるような表示がある場合、複数回答を可能とした設問になります。
  - ・ MA%（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3LA%（3 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを3つまで選択する場合
- (3) 図表ではコンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合があります。
- (4) 一部、要介護認定データの使用を同意した人のみで集計した結果も含まれています。

## 6. 集計・分析における留意点

要介護認定データを用いて、厚生労働省提示の集計分析ソフトを活用した集計・分析では、介護保険サービスの利用回数・利用の組み合わせ等に着目した集計・分析を行うため、介護保険サービスを大きく、「訪問系」「通所系」「短期系」の3つに分類して集計しています。なお、介護保険サービスの中には介護予防・日常生活支援総合事業を通じて提供される「介護予防・生活支援サービス」も含まれます。

### <サービス利用の分析に用いた用語の定義>

用語		定義
未利用		「住宅改修」「福祉用具貸与・購入」のみを利用している人も含みます。
訪問系		(介護予防) 訪問介護、(介護予防) 訪問入浴介護 (介護予防) 訪問看護、(介護予防) 訪問リハビリテーション (介護予防) 居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護
通所系		(介護予防) 通所介護、(介護予防) 通所リハビリテーション (介護予防) 認知症対応型通所介護
短期系		(介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所療養介護
その他	小規模多機能	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護
	看護多機能	看護小規模多機能型居宅介護
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護

### <サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義>

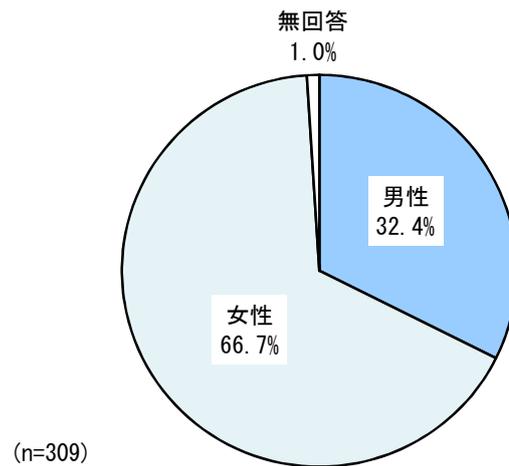
用語	定義
未利用	上表に同じ
訪問系のみ	上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用
訪問系を含む 組み合わせ	上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、 「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、 「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、 「小規模多機能」、「看護多機能」の利用
通所系・短期系のみ	上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用

## Ⅱ 調査の結果

### 1. 基本的事項

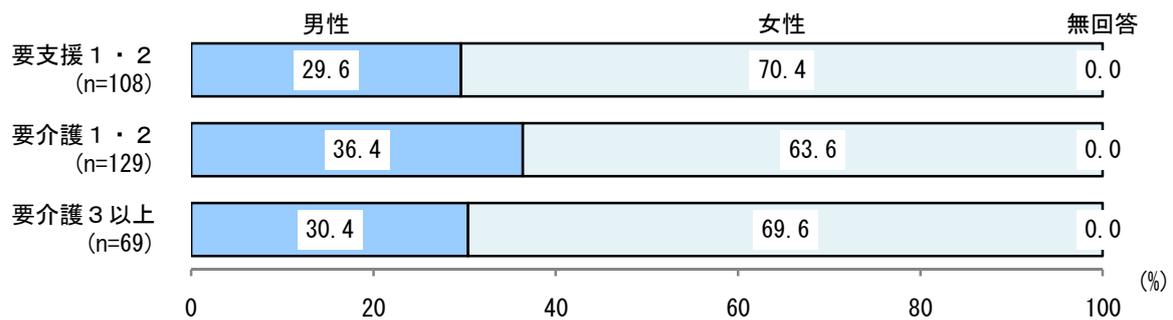
#### （1）調査対象者の性別

調査対象者の性別は、「男性」が32.4%、女性が66.7%となっています。



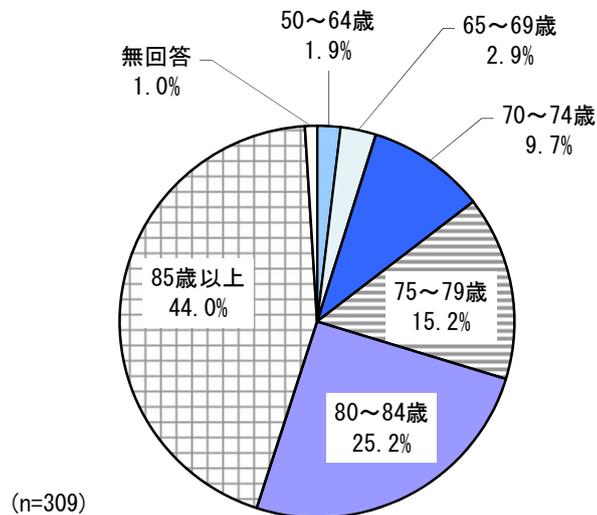
#### 【要介護度別】

要介護度別でみると、いずれも「女性」が過半数を占めています。



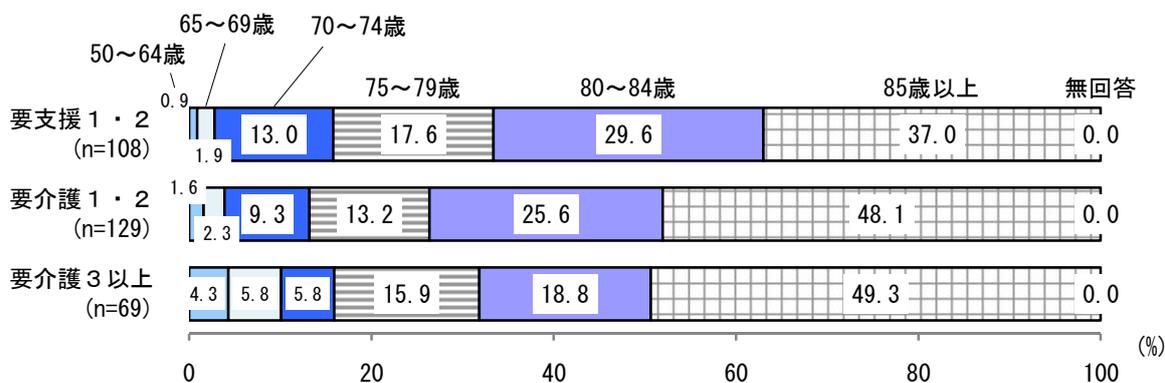
（2）調査対象者の年齢

調査対象者の年齢は、「85歳以上」が44.0%で最も多く、次いで「80～84歳」が25.2%、「75～79歳」が15.2%となっています。



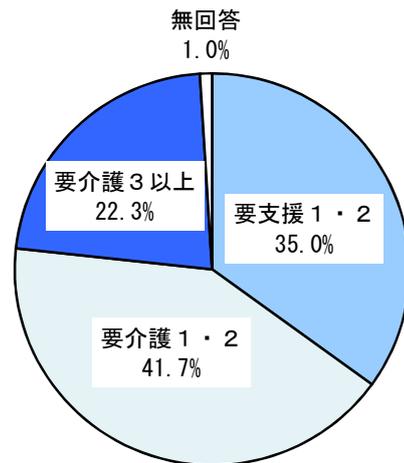
【要介護度別】

要介護度別でみると、「85歳以上」は重度になるほど割合が高く、要介護3以上が49.3%で最も高くなっています。



（３）要介護度

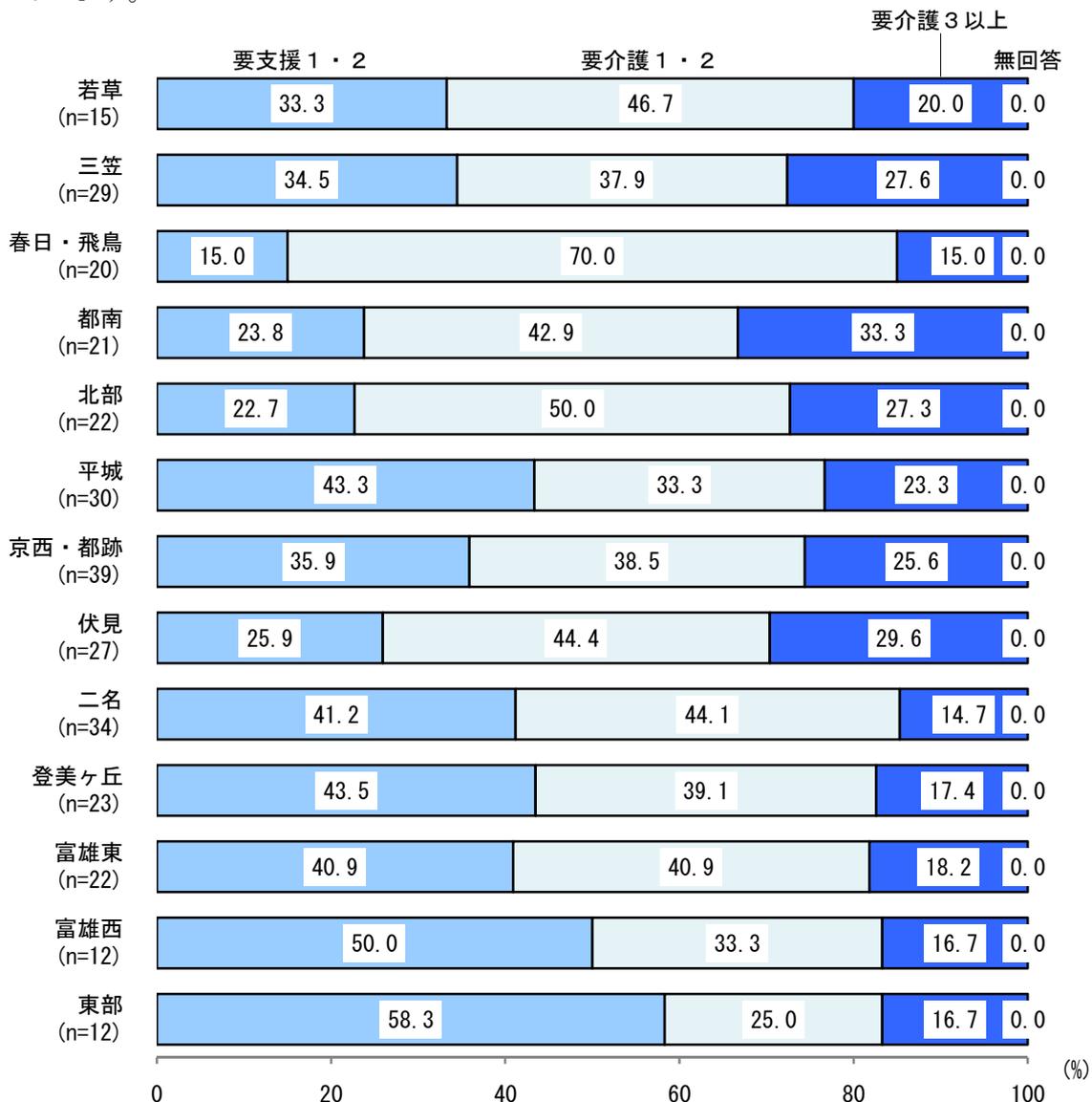
調査対象者の要介護度は、「要支援１・２」が35.0%、「要介護１・２」が41.7%、「要介護３以上」が22.3%となっています。



(n=309)

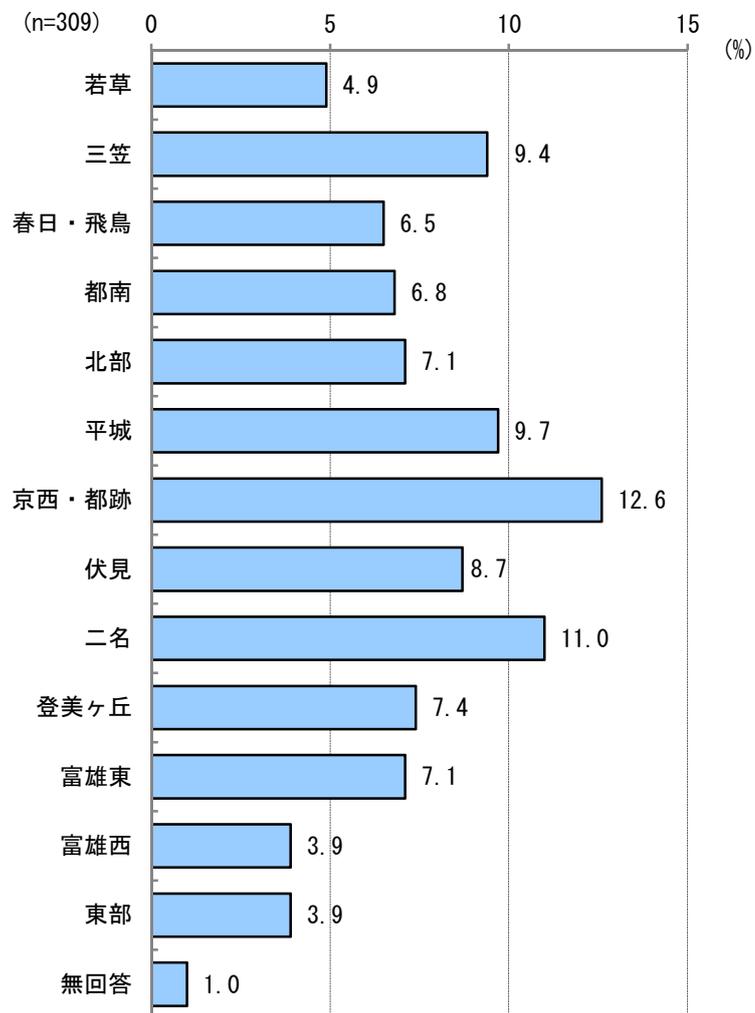
【生活圏域別】

生活圏域別でみると、「要支援１・２」は東部圏域（58.3%）で最も高く、「要介護１・２」は春日・飛鳥圏域（70.0%）、「要介護３以上」は都南圏域（33.3%）で最も高くなっています。



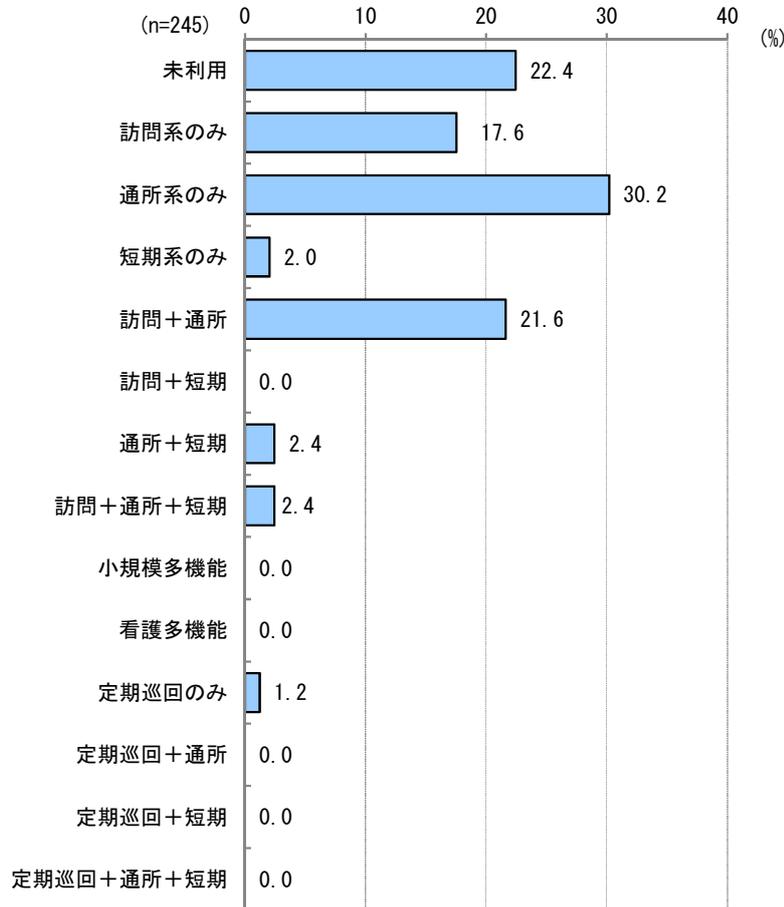
（4）生活圏域

調査対象者の生活圏域は、「京西・都跡」圏域が12.6%で最も多く、次いで「二名」圏域が11.0%、「平城」圏域が9.7%となっています。



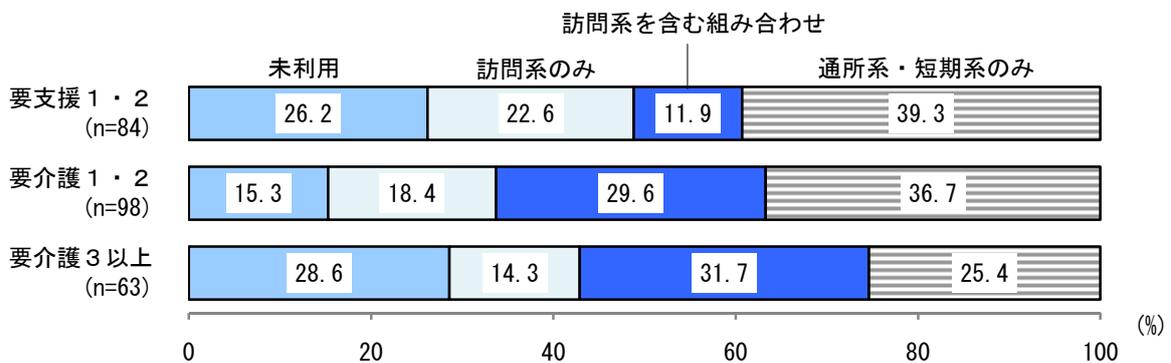
（5）サービス利用の組み合わせ

要介護認定データの使用に同意した人のみの集計結果から、サービス利用の組み合わせをみると、「通所系のみ」が30.2%で最も多く、次いで「未利用」が22.4%、「訪問+通所」が21.6%、「訪問系のみ」が17.6%となっています。



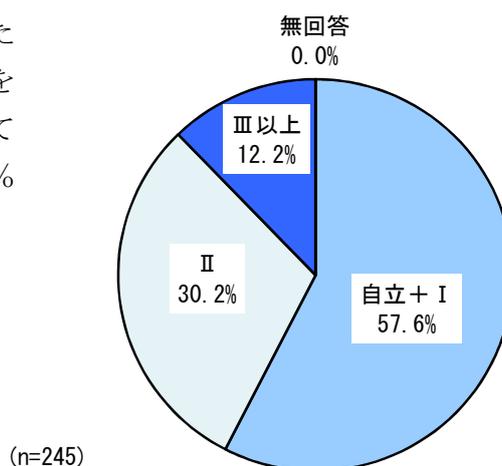
【要介護度別】

要介護度別でみると、重度になるほど「訪問系のみ」と「通所系・短期系のみ」は低くなっていますが、「訪問系を含む組み合わせ」は高くなっています。また、要介護1・2は、「未利用」が他の要介護度に比べ低いことから、サービス利用の割合が高いことが考えられます。



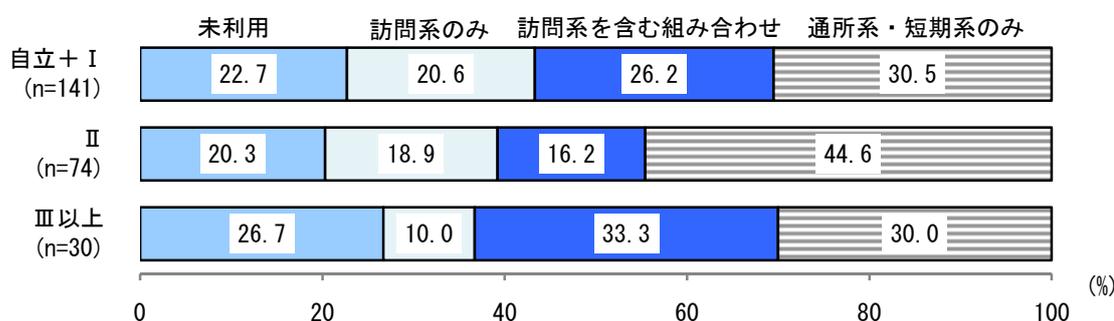
（6）認知症自立度

要介護認定データの使用に同意した人のみの集計結果から、認知症自立度をみると、「自立+Ⅰ」が57.6%を占めており、「Ⅱ」が30.2%、「Ⅲ以上」は12.2%となっています。



【認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを、認知症自立度別でみると、重度になるほど「訪問系のみ」が低くなっています。なお、自立度Ⅱは「通所系・短期系のみ」(44.6%)、自立度Ⅲ以上では「訪問系を含む組み合わせ」(33.3%)が最も多くなっています。



※注：「サービス利用の組み合わせ」と「認知症自立度」に関する分析は、要介護認定データの使用を同意した人のみ（n=245）となります。（以下同様）

## 2. 認定調査対象者について

### （1）世帯類型

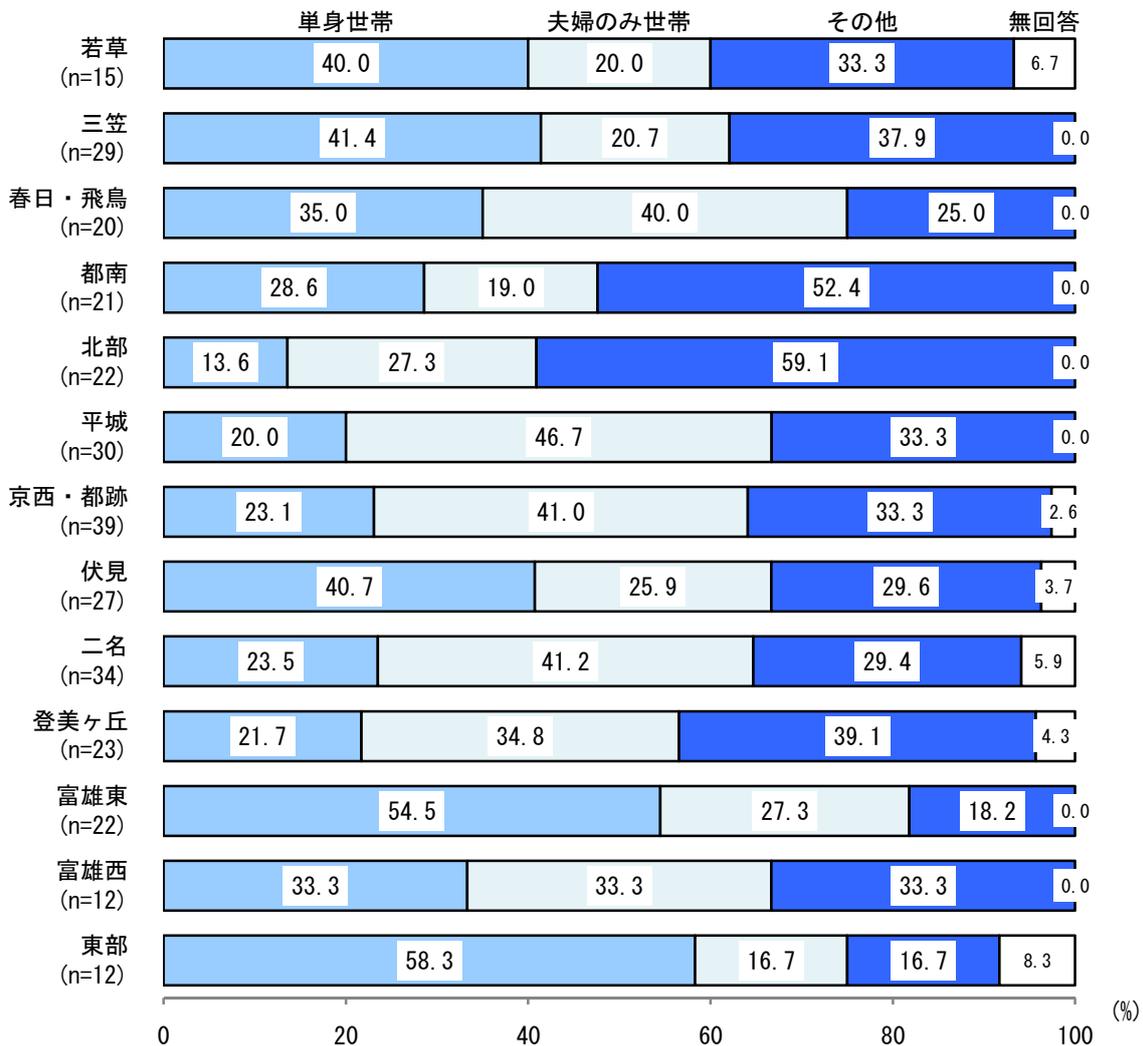
問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

世帯類型は、「単身世帯」が31.4%、「夫婦のみ世帯」が32.0%、「その他」の世帯が34.3%となっています。



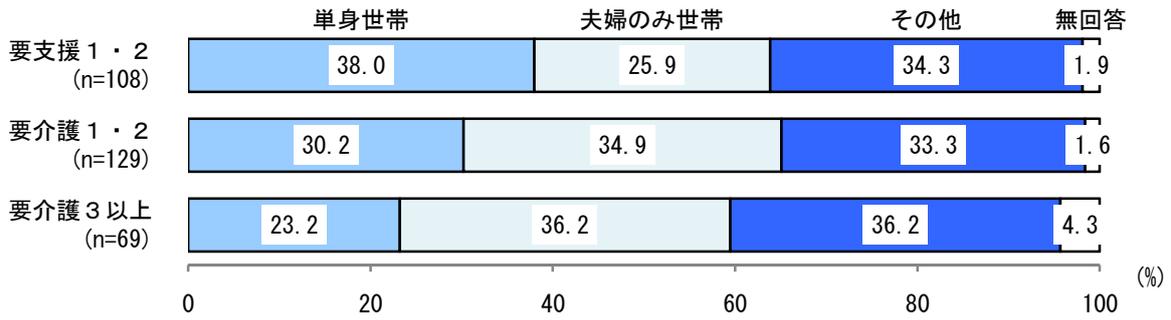
### 【生活圏域別】

生活圏域別でみると「単身世帯」は東部圏域が58.3%で最も高く、次いで富雄東圏域が54.5%、三笠圏域が41.4%となっています。



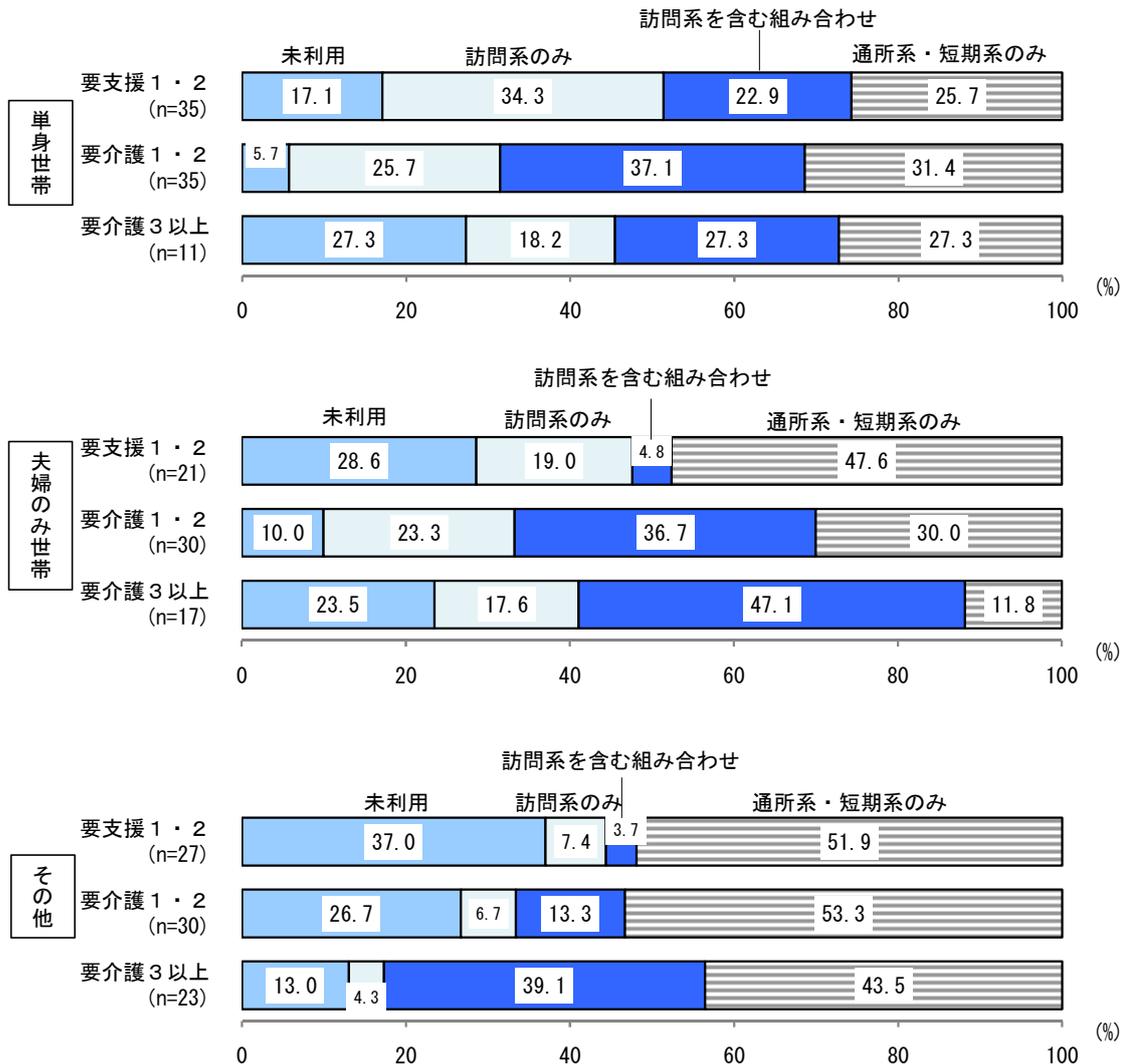
【要介護度別】

要介護度別でみると、「単身世帯」は重度になるほど割合が低くなっています。



【世帯類型別 要介護度別 サービス利用の組み合わせ】

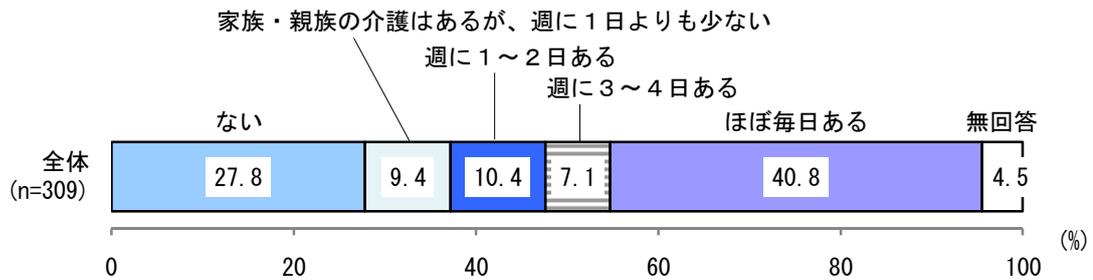
世帯類型ごとに、要介護度別のサービス利用の組み合わせをみると、単身世帯では、要支援 1・2 で「訪問系のみ」(34.3%)、要介護 1・2 は「訪問系を含む組み合わせ」(37.1%) が最も多くなっています。夫婦のみ世帯では、要支援 1・2 で「通所系・短期系のみ」(47.6%) が最も多いですが、要介護 1・2 と要介護 3 以上は「訪問系を含む組み合わせ」が最も多くなっています。その他の世帯では、いずれの要介護度も「通所系・短期系のみ」が最も多いですが、「訪問系を含む組み合わせ」は重度になるほど割合が高くなっています。



（2）週あたりの介護頻度

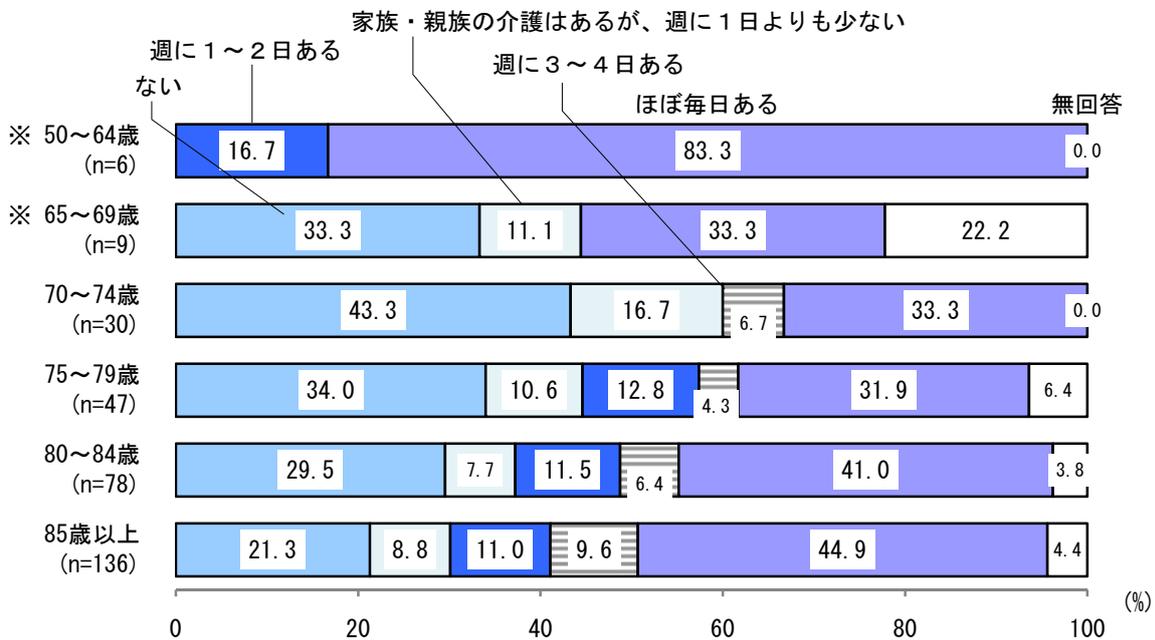
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む。）（1つを選択）

週あたりの介護頻度については、「ほぼ毎日ある」が40.8%で最も多く、次いで「ない」が27.8%、「週に1～2日ある」が10.4%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、「ない」は70～74歳が43.3%で最も高く、高齢になるほど割合が低くなっています。一方で、「ほぼ毎日ある」は高齢になるほど割合が高くなり、85歳以上で44.9%と最も高くなっています。

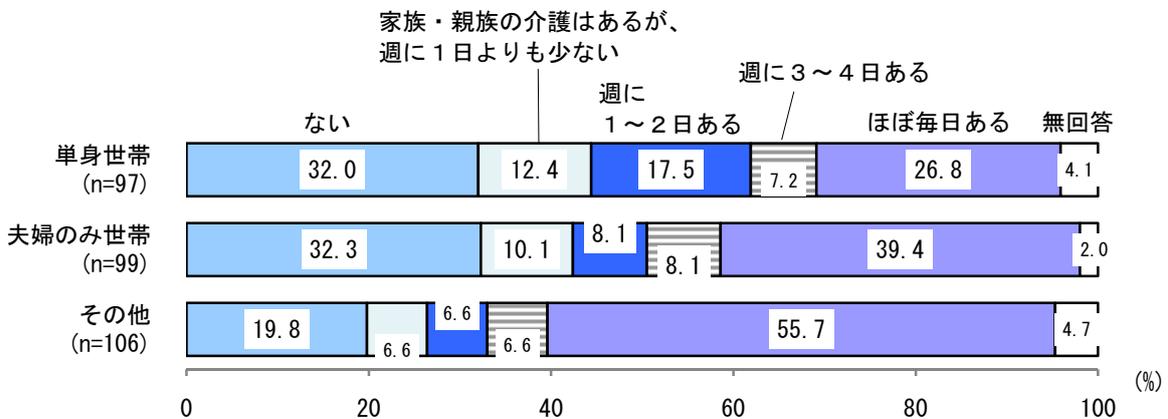


※母数が少ないため0.0%は省略した。

※注：クロス集計の分析にあたって、50～64歳、65～69歳は回答者数が10人未満と少ないため、図表化は行いますが、分析には含めていません。

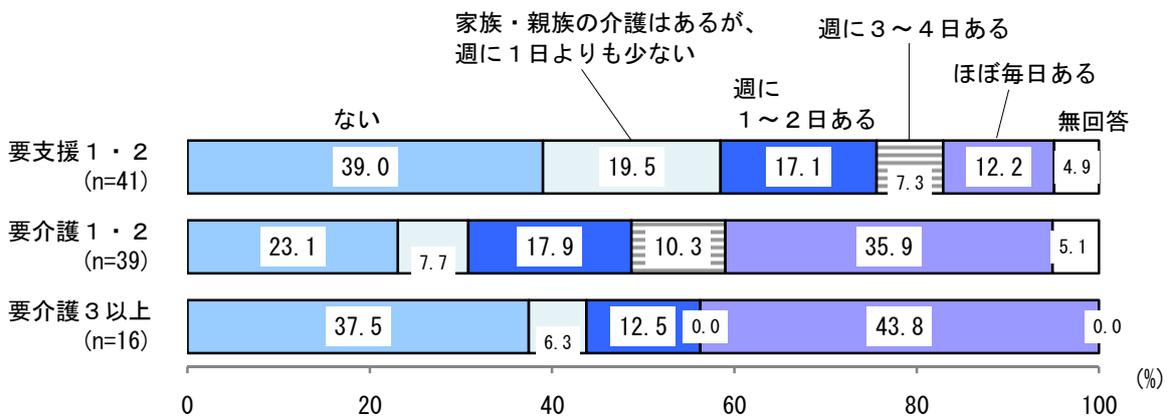
【世帯類型別】

世帯類型別でみると、単身世帯では、「ない」が32.0%で最も多いですが、次いで「ほぼ毎日ある」が26.8%となっており、近居の家族等による介護が行われているケースがうかがえます。



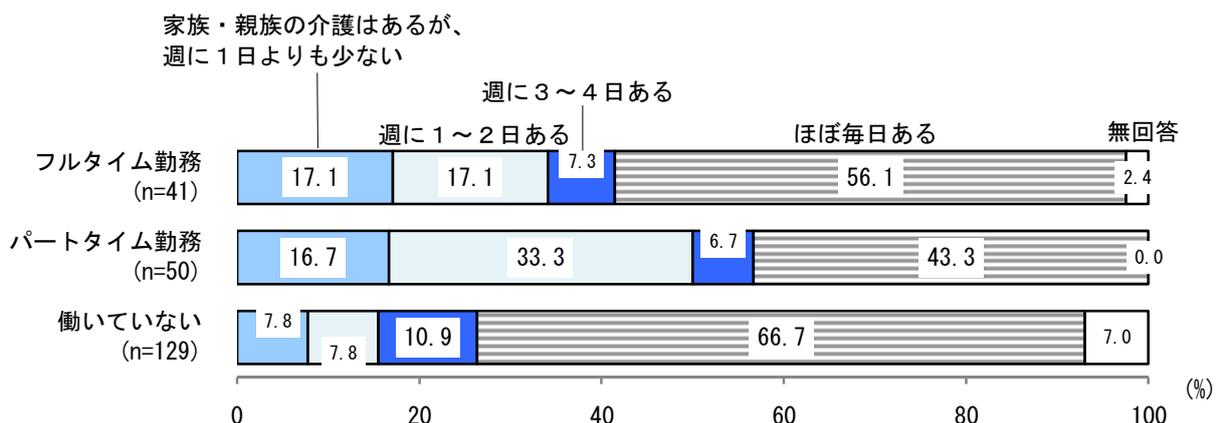
【要介護度別（単身世帯のみ）】

単身世帯の要介護者を、要介護度別でみると、要支援1・2では「ない」(39.0%)が最も多いですが、要介護1・2、要介護3以上では「ほぼ毎日ある」が3～4割台で最も多くなっています。なお、「ない」は、要介護1・2が最も低くなっています。



【介護者の勤務形態別】

介護者の勤務形態別でみると、働いている介護者は、働いていない介護者に比べて週2日以下の割合が高くなり、介護頻度の低下がみられます。

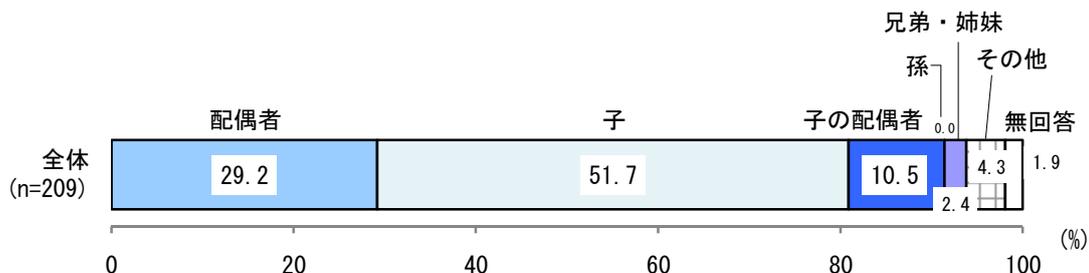


※介護を受けて「ない」人は、集計から外す。

（3）主な介護者

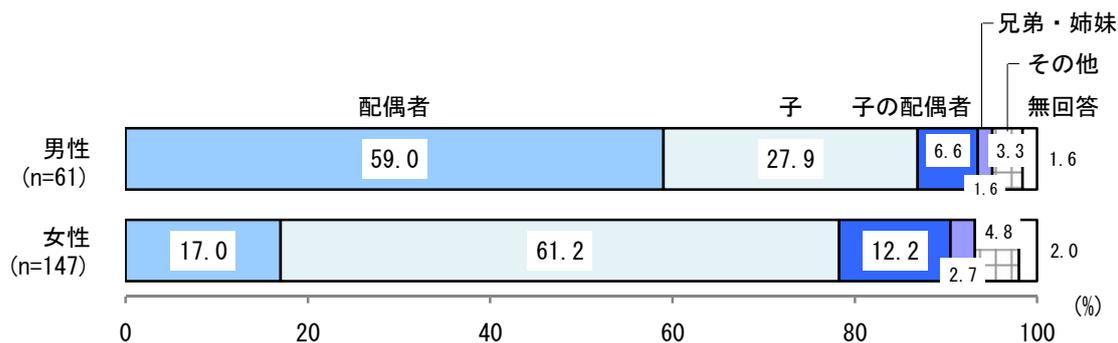
問3 【問2で「1.（家族や親族からの介護は）ない」以外を回答した方にお伺いします。】  
 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

主な介護者は、「子」が51.7%で最も多く、次いで「配偶者」が29.2%、「子の配偶者」が10.5%となっています。



【性別】

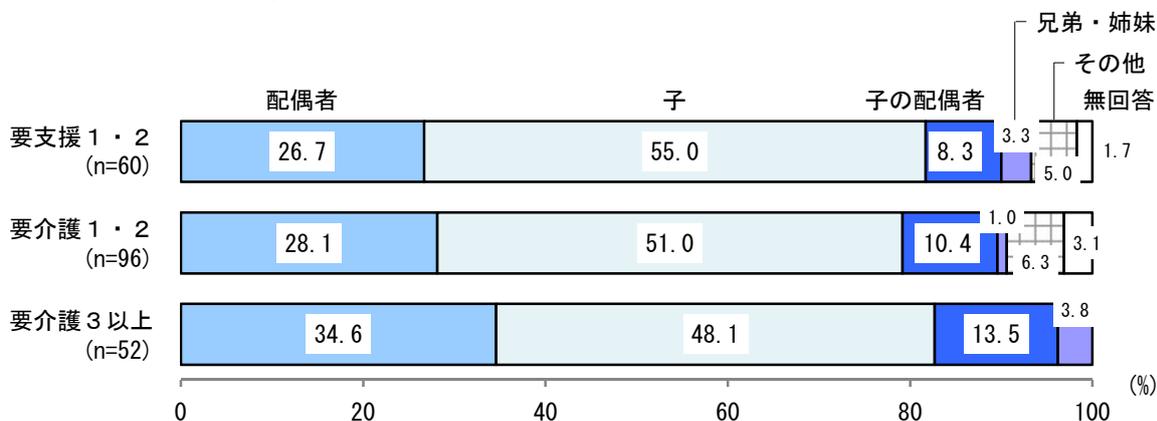
性別で見ると、男性は「配偶者」（59.0%）が最も多いですが、女性は「子」（61.2%）が最も多くなっています。



※「孫」は回答がなかったため省略した。

【要介護度別】

要介護度別で見ると、「配偶者」は重度になるほど割合が高く、「子」は重度になるほど低くなっています。

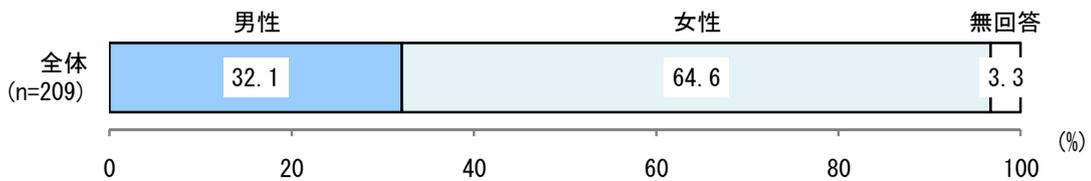


※「孫」は回答がなかったため省略した。  
 ※母数が少ないため0.0%は省略した。

（4）主な介護者の性別

問4 【問2で「1.（家族や親族からの介護は）ない」以外を回答した方にお伺いします。】  
 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

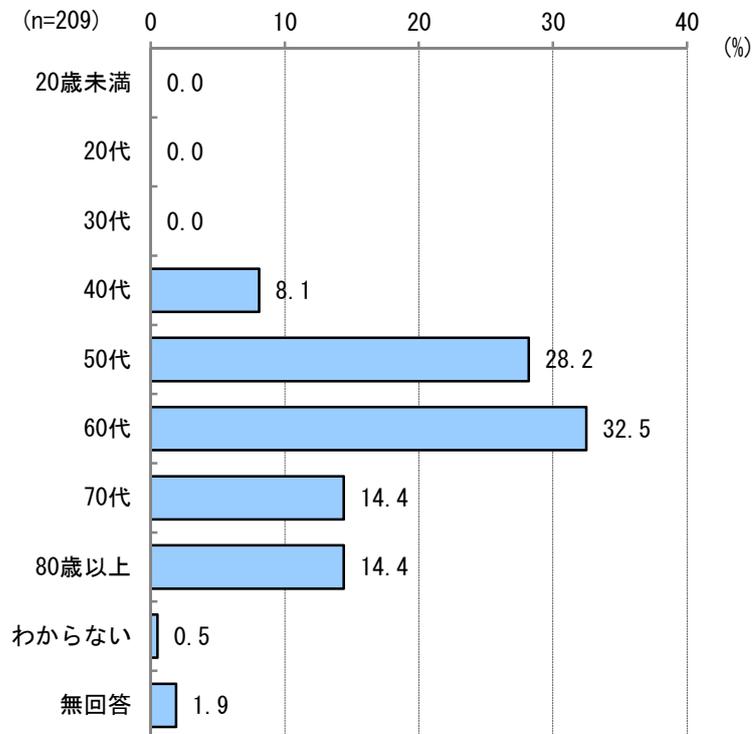
主な介護者の性別は、「男性」が32.1%、「女性」が64.6%となっています。



（5）主な介護者の年齢

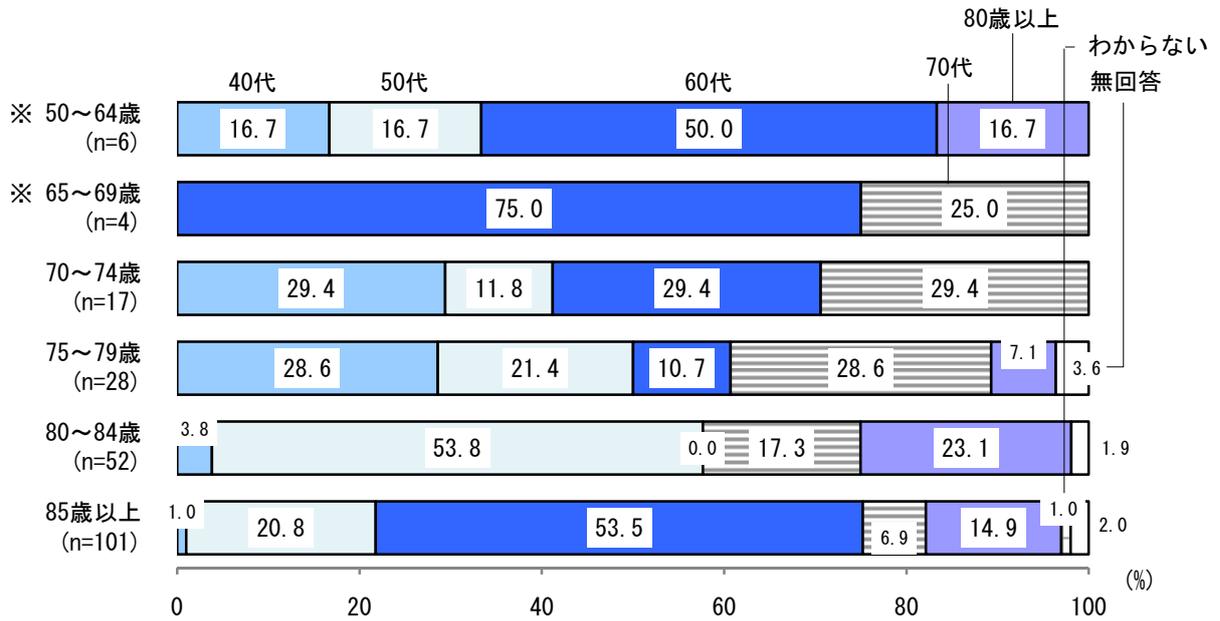
問5 【問2で「1.（家族や親族からの介護は）ない」以外を回答した方にお伺いします。】  
 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

主な介護者の年齢については、「60代」が32.5%で最も多く、次いで「50代」が28.2%となっています。



【年齢別】

調査対象者の年齢別で見ると、対象者の80～84歳は「50代」（53.8%）が最も多く、85歳以上は「60代」（53.5%）が最も多くなっています。



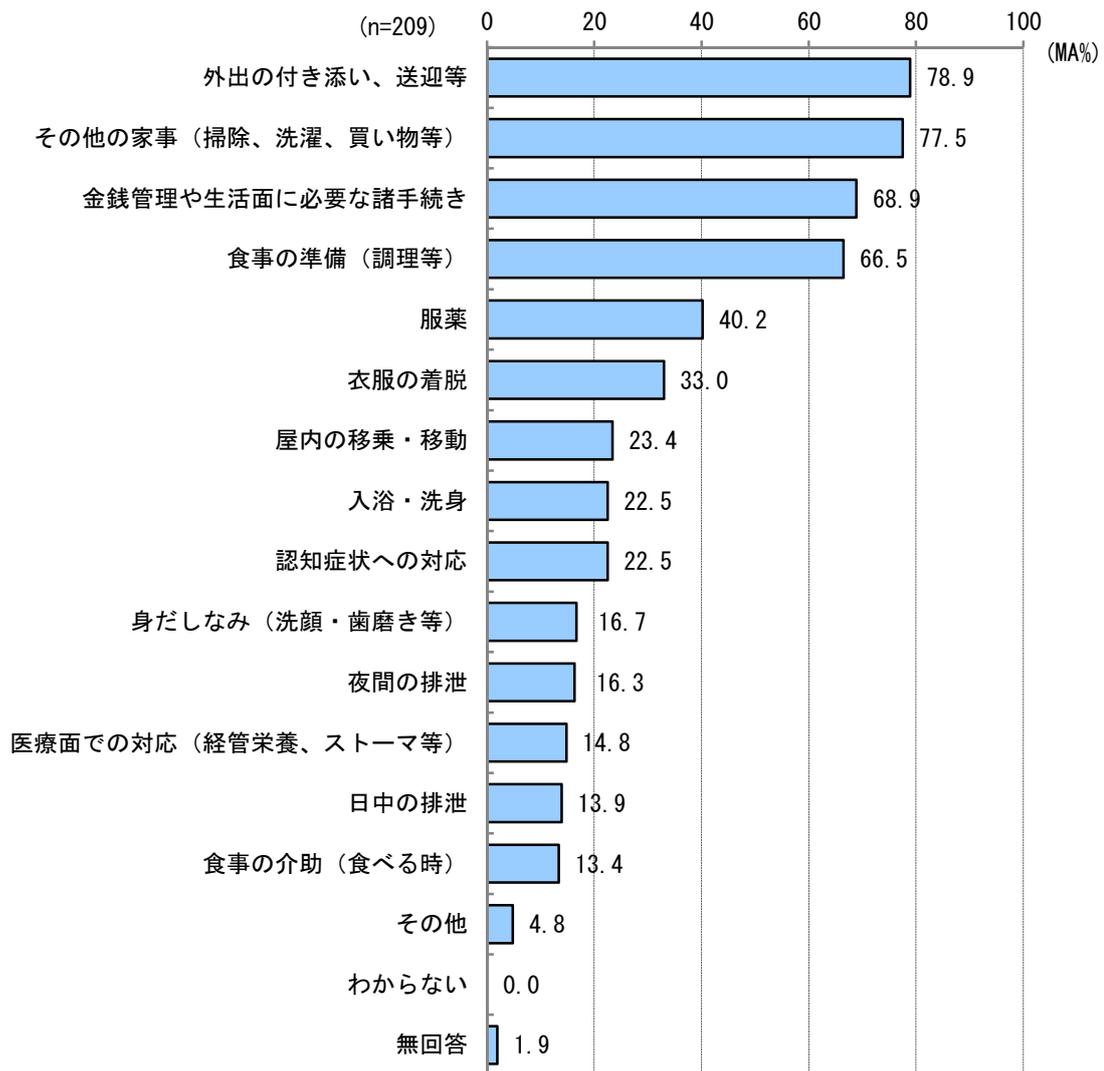
※主な介護者の年齢の「20歳未満」「20代」「30代」は回答がなかったため省略した。  
また、母数が少ないため0.0%は省略した。

※注：クロス集計の分析にあたって、50～64歳、65～69歳は回答者数が10人未満と少ないため、図表化は行いますが、分析には含めていません。

（6）主な介護者が行っている介護等について

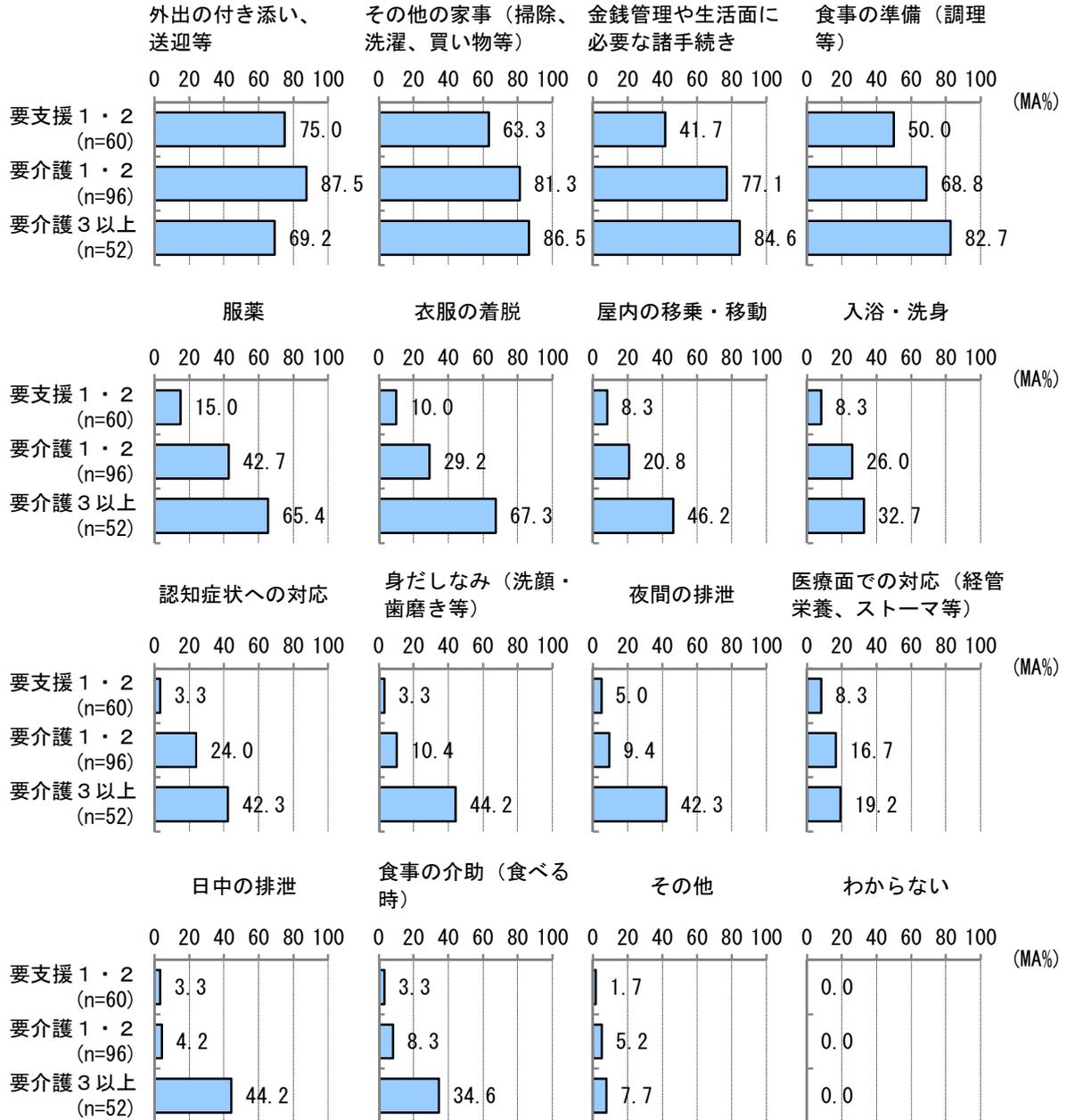
問6 【問2で「1.（家族や親族からの介護は）ない」以外を回答した方にお伺いします。】  
 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

主な介護者が行っている介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が78.9%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が77.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.9%となっています。



【要介護度別】

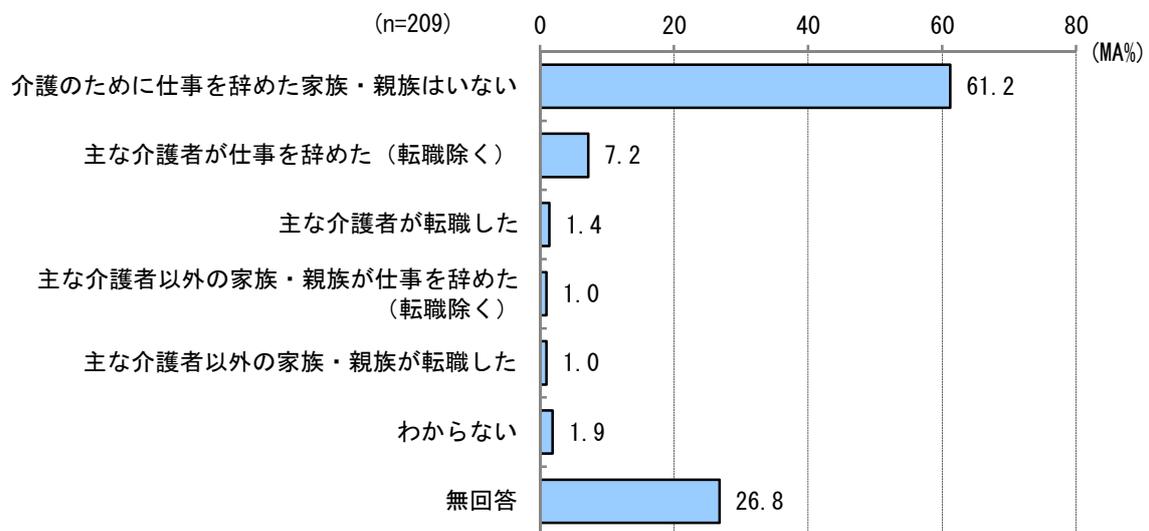
要介護度別でみると、要支援１・２、要介護１・２は「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」となっています。要介護３以上では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」となっています。要介護３以上では「外出の付き添い、送迎等」を除くすべての項目で最も高い割合となっています。



（7）過去1年間に仕事を辞めた人がいるか

問7 【問2で「1.（家族や親族からの介護は）ない」以外を回答した方にお伺いします。】  
 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1  
 年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態  
 は問いません。）（複数選択可）

過去1年間に仕事を辞めた人がいるかでは、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.2%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.2%となっています。

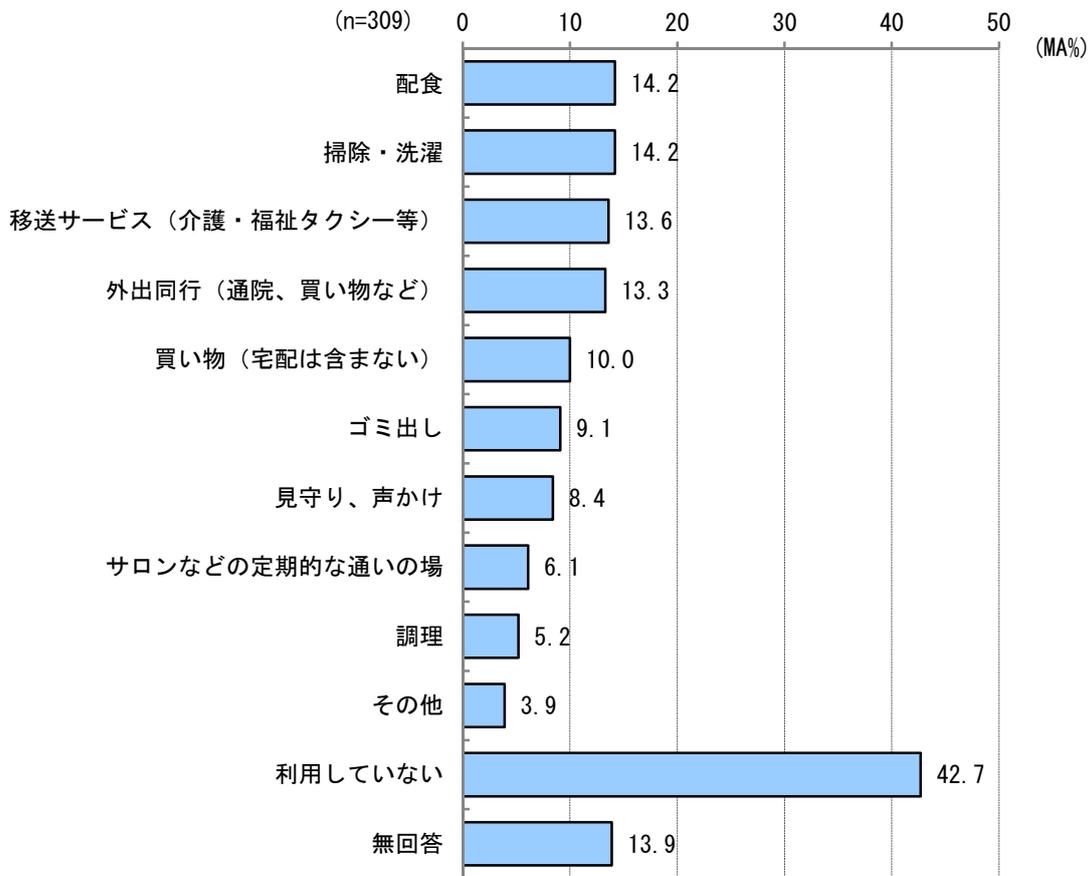


（8）利用している介護保険サービス以外の支援・サービス

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

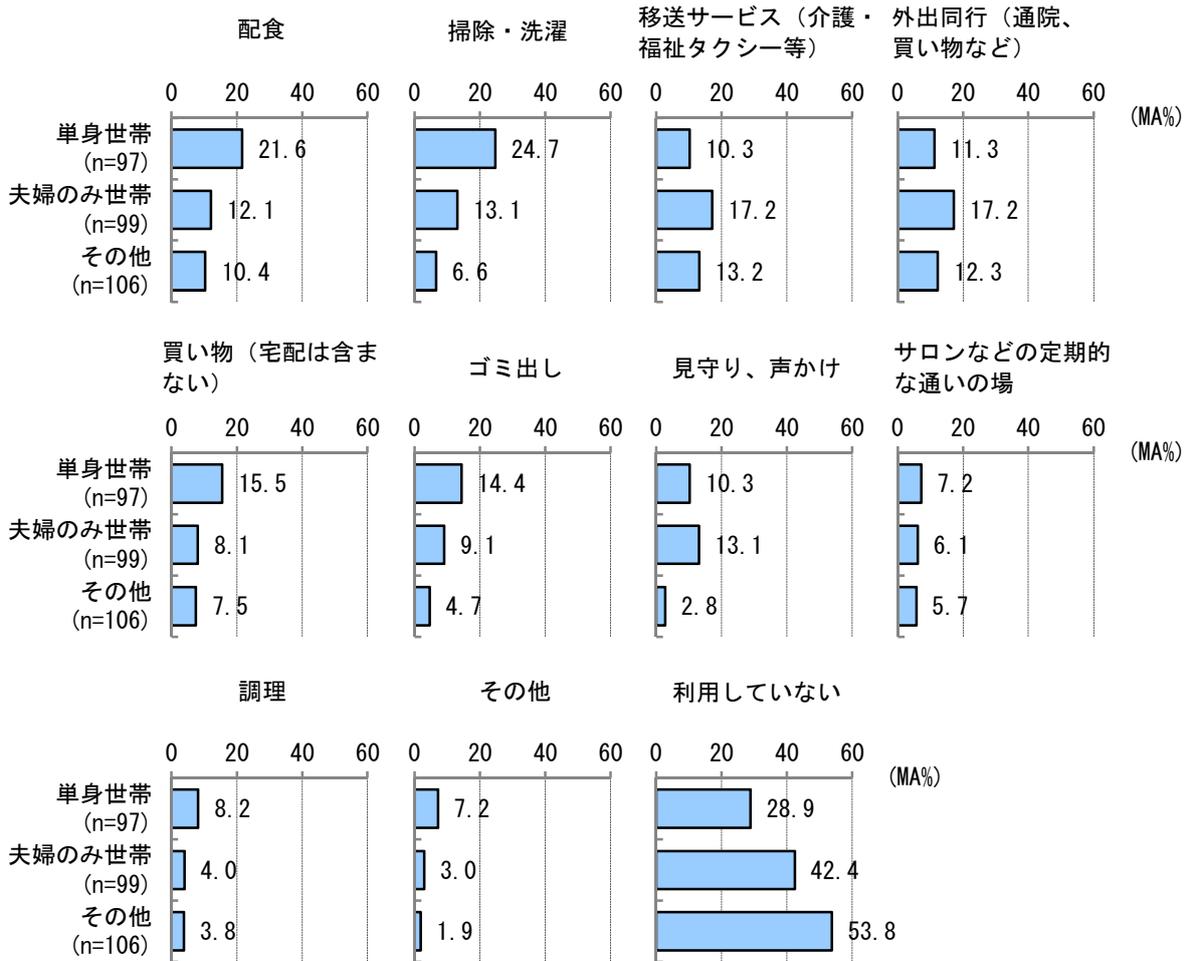
現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「配食」と「掃除・洗濯」がともに14.2%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.6%、「外出同行（通院、買い物など）」が13.3%となっています。

一方で、「利用していない」は42.7%となっています。



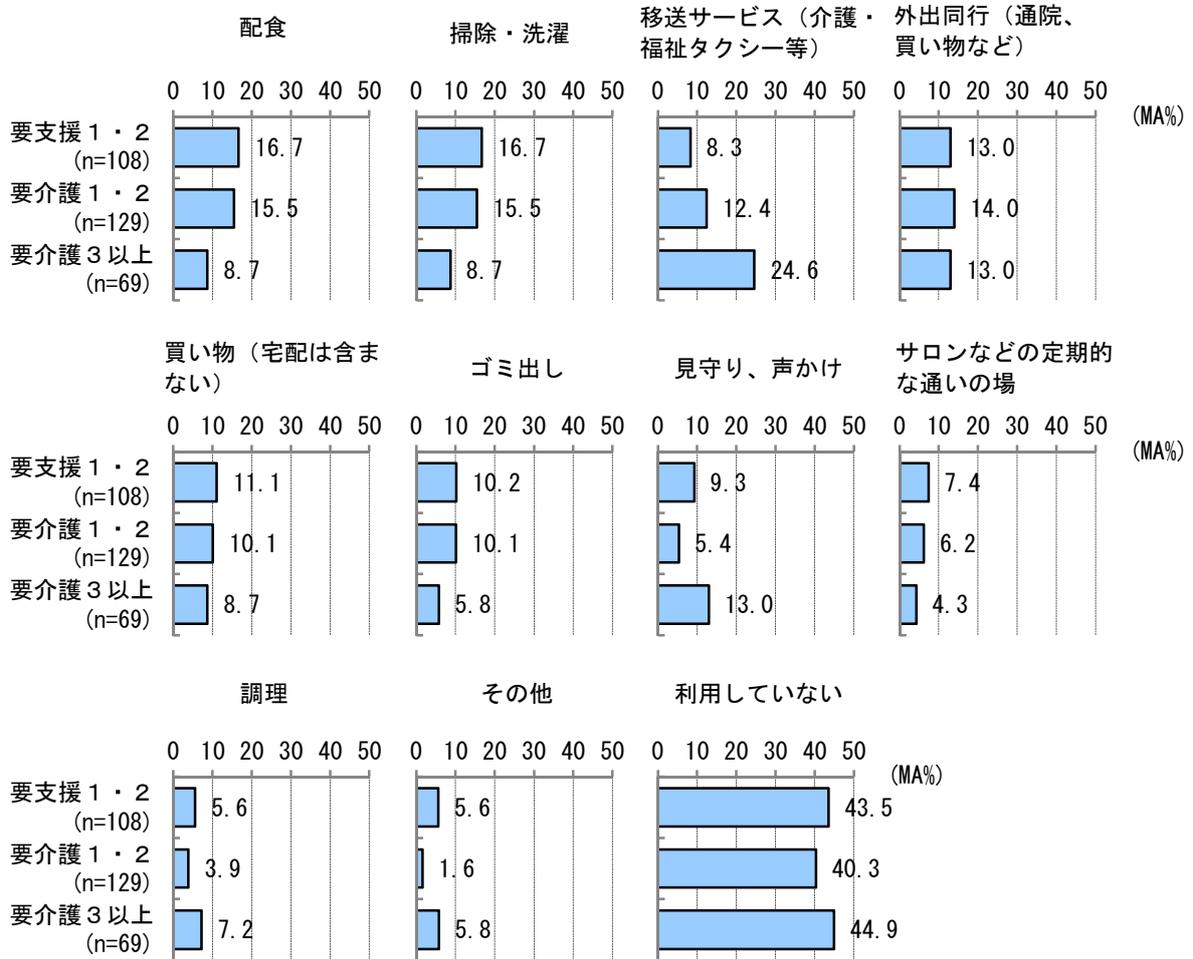
【世帯類型別】

世帯類型別でみると、いずれの世帯も「利用していない」が最も多いですが、単身世帯は28.9%に対し、夫婦のみ世帯とその他の世帯は4～5割台と高くなっています。サービスを利用している人では、単身世帯は「掃除・洗濯」（24.7%）が最も多く、次いで「配食」（21.6%）、「買い物（宅配は含まない）」（15.5%）となっています。一方、夫婦のみ世帯とその他の世帯は、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「外出同行（通院、買い物など）」が多くなっています。



【要介護度別】

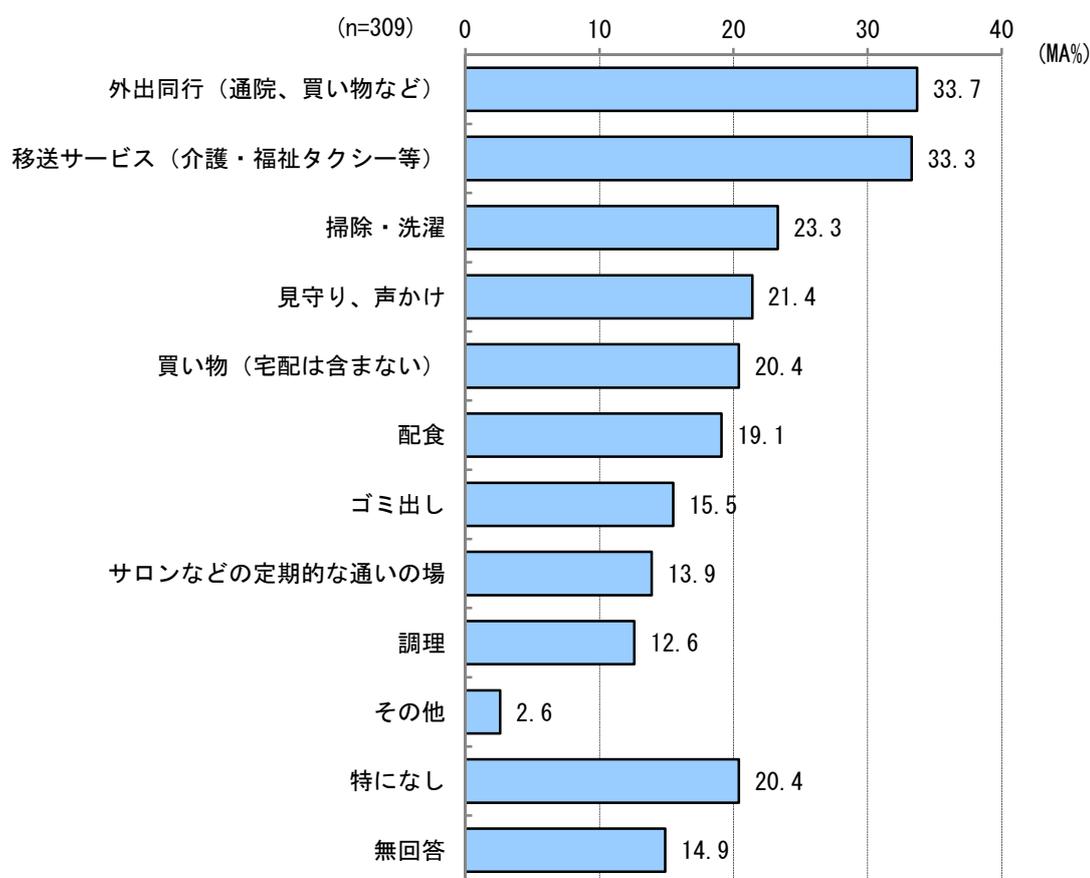
要介護度別でみると、いずれの要介護度も「利用していない」が最も多いです。サービスを利用している人では、要支援1・2と要介護1・2が「配食」「掃除・洗濯」とともに最も多く、要介護3以上は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。



（9）今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

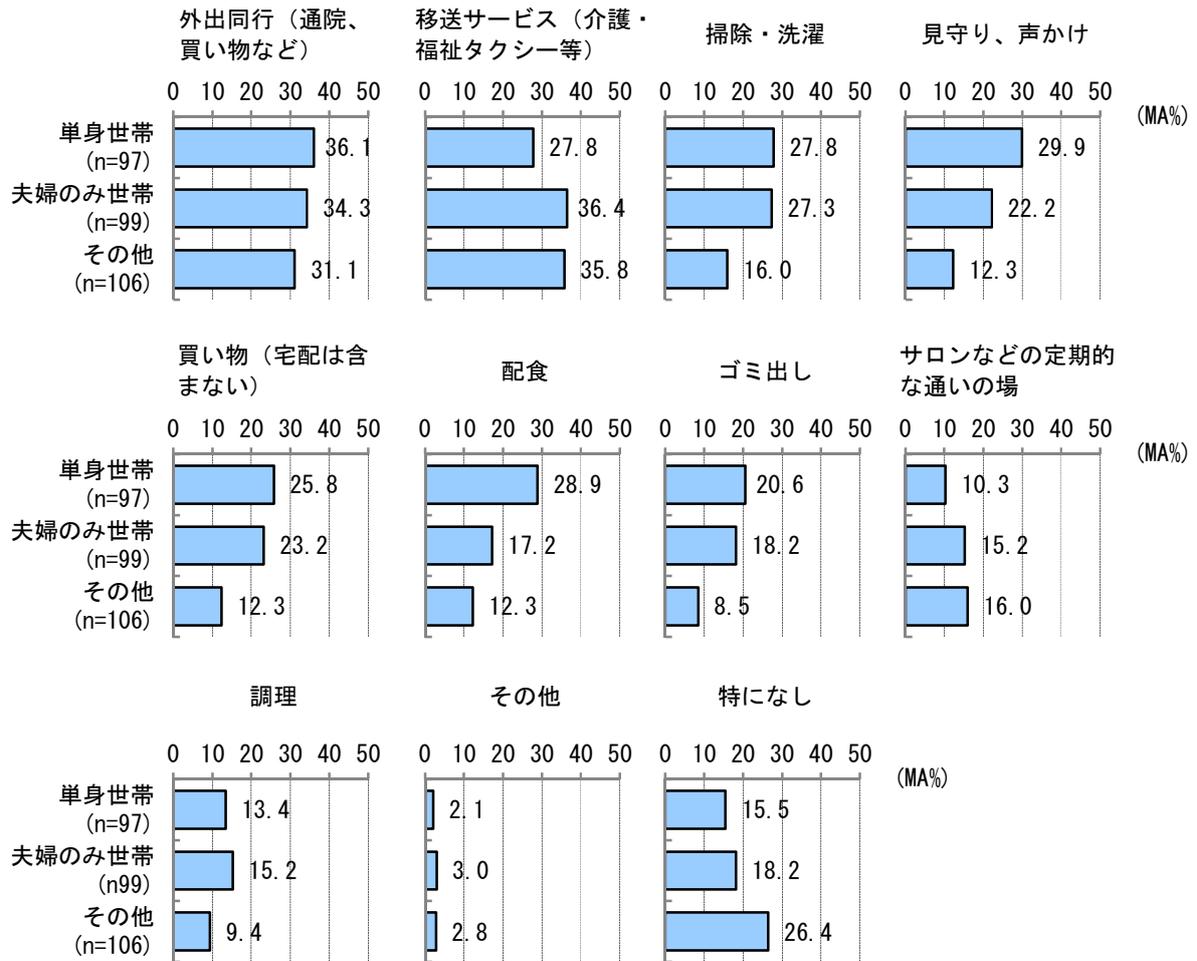
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。  
（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「外出同行（通院、買い物など）」が33.7%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.3%、「掃除・洗濯」が23.3%となっています。



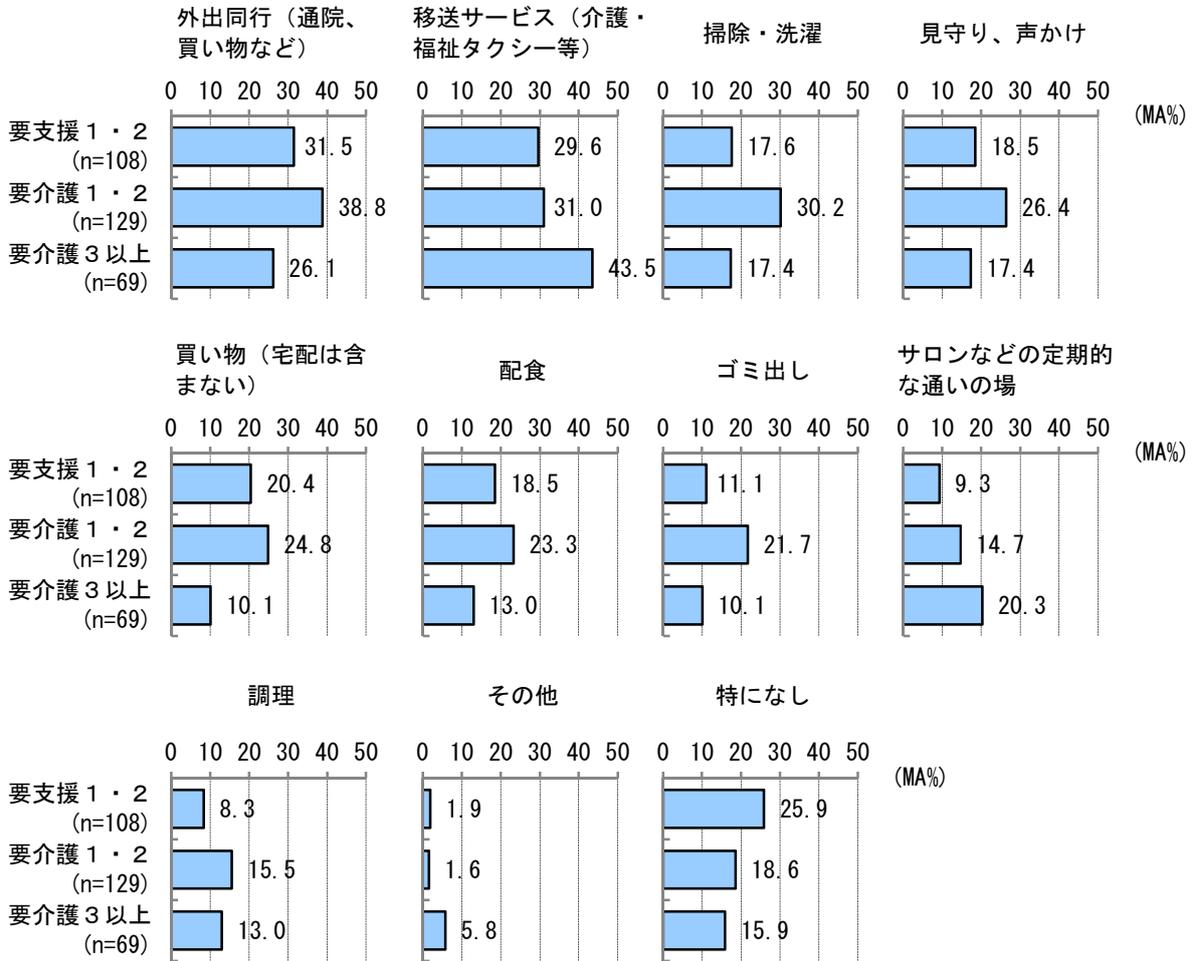
【世帯類型別】

世帯類型別でみると、「特になし」は、単身世帯が15.5%で最も低く、次いで夫婦のみ世帯が18.2%、その他の世帯が26.4%となっており、在宅生活の継続には支援・サービスの必要性があると考えられます。なお、単身世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が36.1%で最も多く、次いで「見守り・声かけ」が29.9%、「配食」が28.9%となっています。一方、夫婦のみ世帯とその他の世帯は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1・2では「外出同行（通院、買い物など）」が最も多く、要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。なお、要介護1・2では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」と「サロンなどの定期的な通いの場」以外の項目で最も高くなっています。



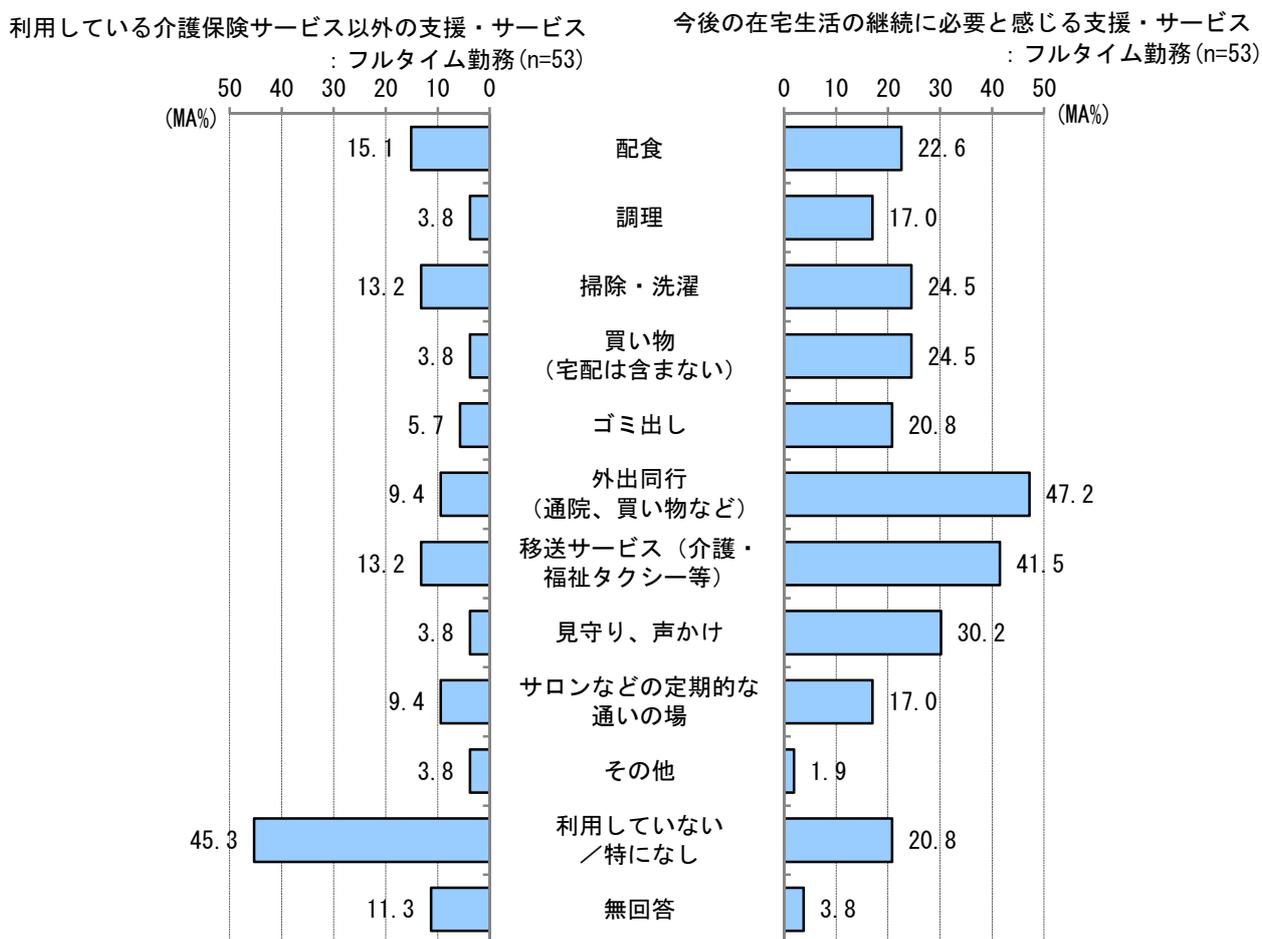
【介護者の勤務形態別（フルタイム勤務のみ）】

介護保険サービス以外の支援・サービス／今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

フルタイム勤務の介護者のみで見ると、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスは、「配食」が15.1%で最も多く、「調理」や「買い物（宅配は含まない）」、「見守り、声かけ」は3.8%で最も低くなっています。一方、「利用していない」は45.3%です。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、「外出同行（通院、買い物など）」が47.2%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が41.5%となっており、「特になし」は20.8%となっています。

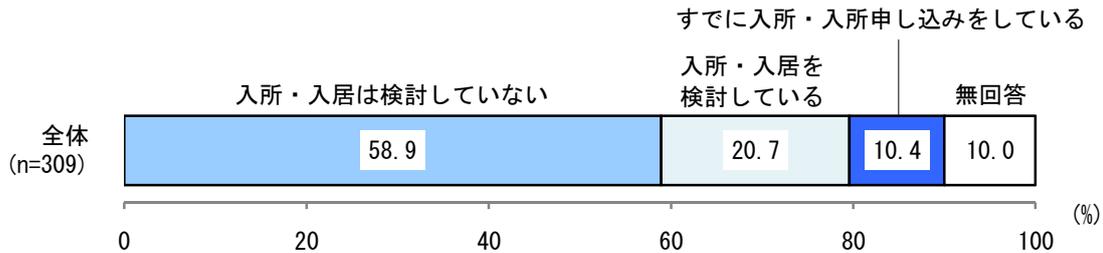
よって、フルタイム勤務の介護者は、サービスを利用していない人が45.3%となっていますが、サービスの利用意向がある人は7割以上となっています。



(10) 現時点での施設等への入所・入居の検討状況

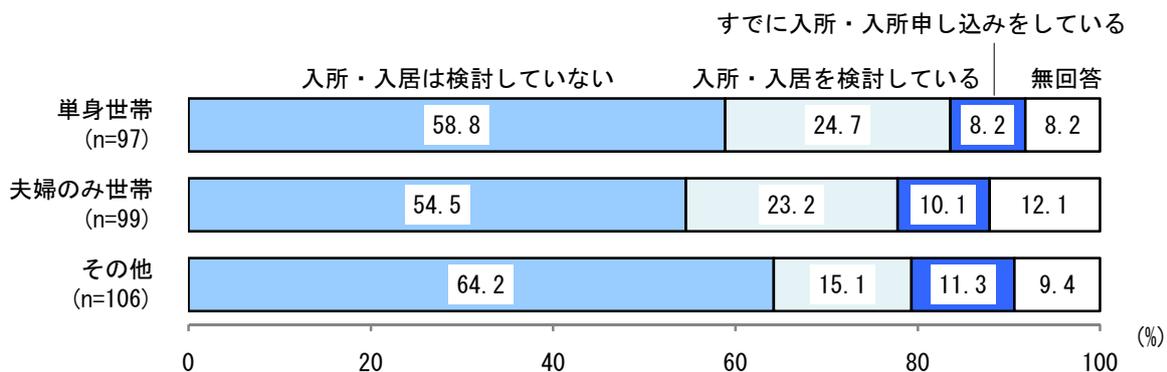
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。  
（1つを選択）

現時点での施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が58.9%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が20.7%、「すでに入所・入所申し込みをしている」が10.4%となっています。



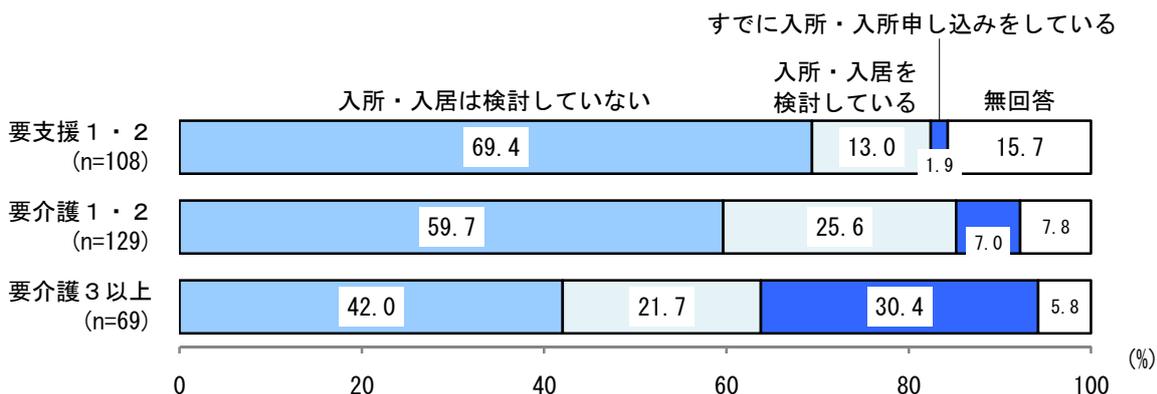
【世帯類型別】

世帯類型別でみると、いずれの世帯も「入所・入居は検討していない」が過半数を占めますが、「入所・入居を検討している」は単身世帯（24.7%）で最も高くなっています。



【要介護度別】

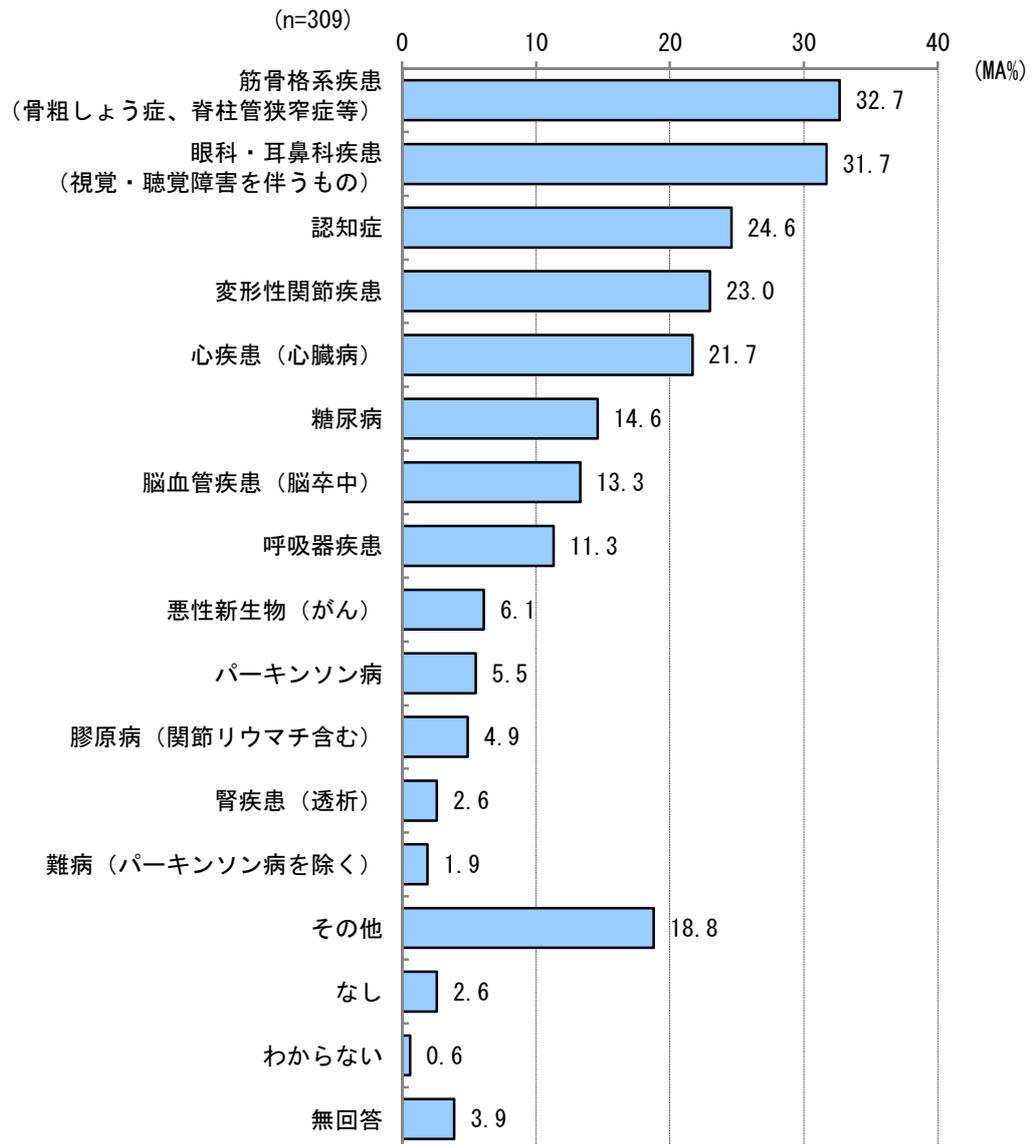
要介護度別でみると、いずれの要介護度も「入所・入居は検討していない」が最も多く、重度になるほど割合は低くなっています。「入所・入居を検討している」は、要介護1・2が25.6%となっており、「すでに入所・入所申し込みをしている」は重度になるほど高く、要介護3以上が30.4%となっています。



(11) 対象者が現在抱えている傷病

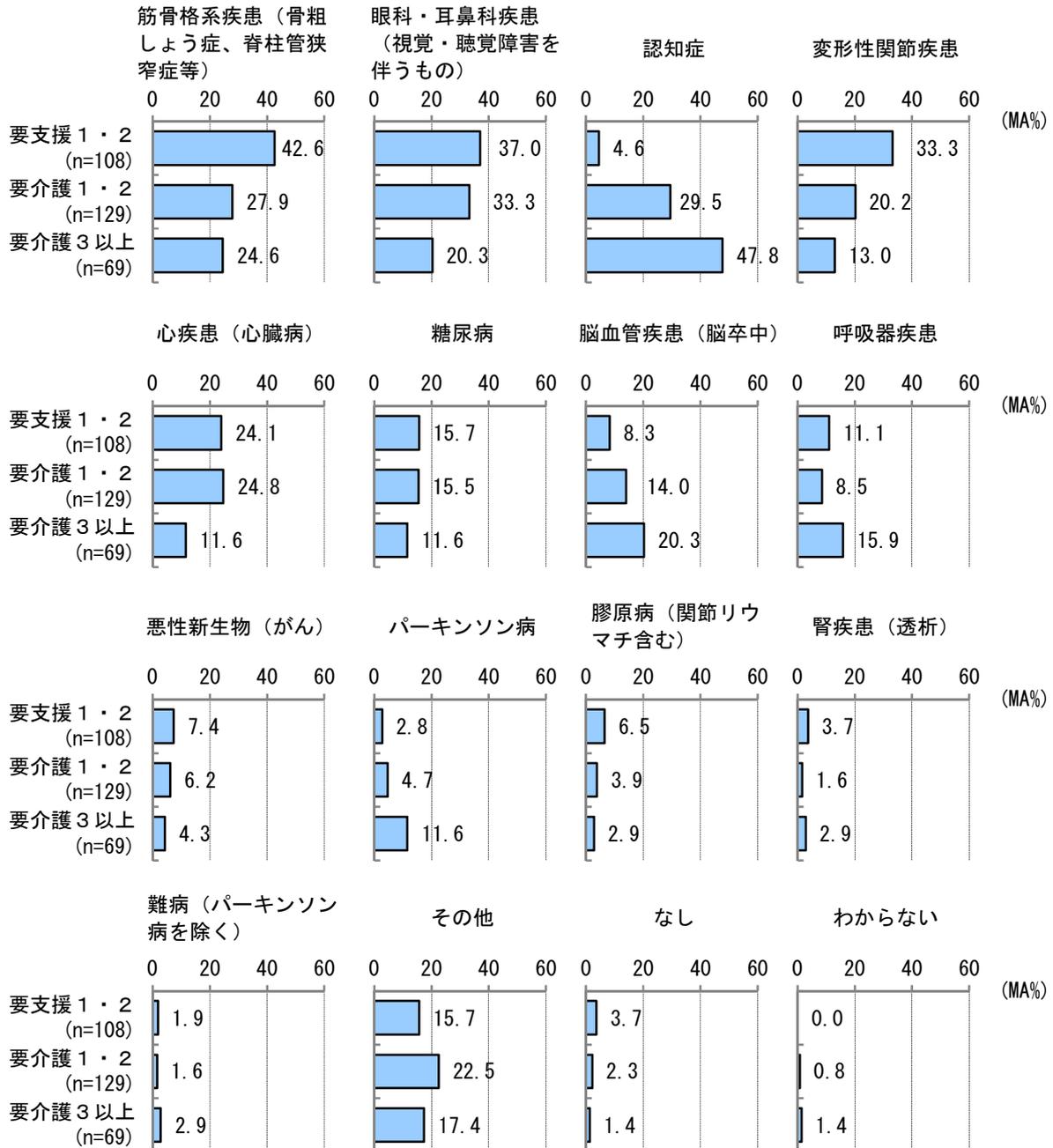
問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。  
（複数選択可）

対象者が現在抱えている傷病については、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が32.7%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が31.7%、「認知症」が24.6%となっています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、要支援1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が42.6%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が37.0%となっています。要介護1・2では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が33.3%で最も多く、次いで「認知症」が29.5%となっています。要介護3以上では「認知症」が47.8%で最も多く、「認知症」は重度になるほど割合が高くなっています。



(12) 訪問診療を利用しているか

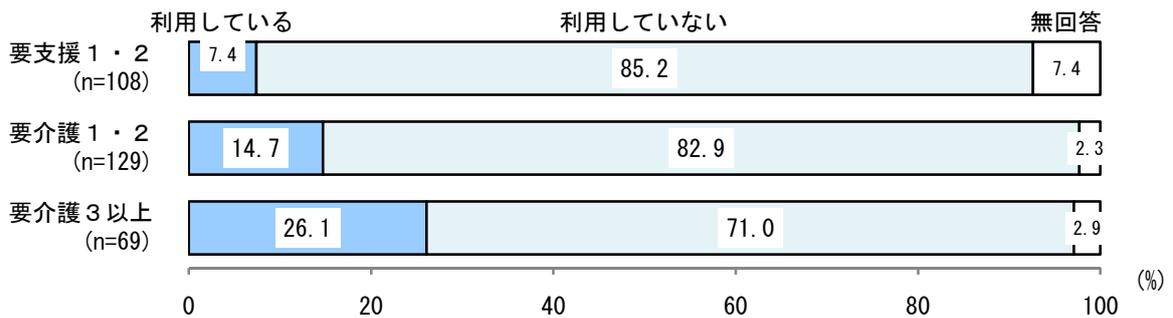
問12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）

訪問診療を利用しているかでは、「利用している」が14.6%、「利用していない」が81.2%となっています。



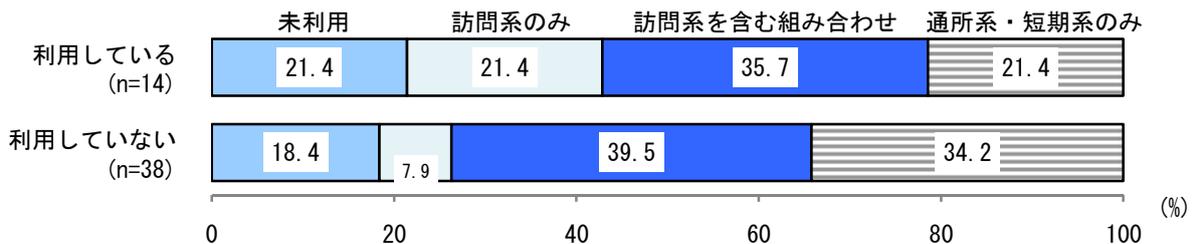
【要介護度別】

要介護度別でみると、「利用している」は重度になるほど割合が高くなり、要介護3以上で26.1%となっています。



【訪問診療の利用有無別 サービス利用の組み合わせ（要介護3以上のみ）】

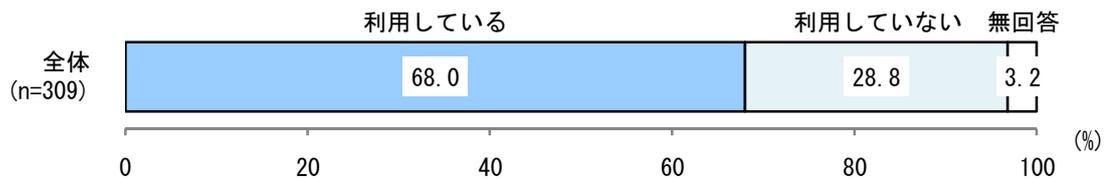
要介護3以上で、サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用有無別でみると、利用している人は、「訪問系を含む組み合わせ」が35.7%で最も多く、「訪問系のみ」と「通所系・短期系のみ」は21.4%となっています。一方、利用していない人では、「訪問系を含む組み合わせ」が39.5%で最も多く、次いで「通所系・短期系のみ」が34.2%、「訪問系のみ」は7.9%となっています。



(13) 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況

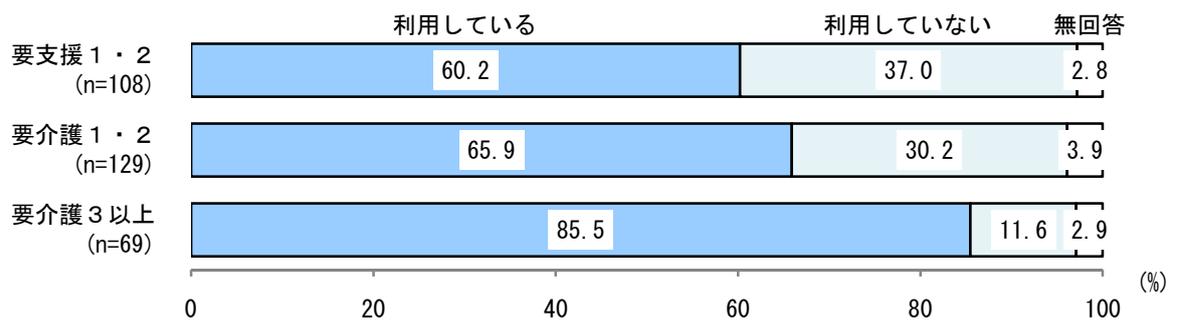
問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つを選択）

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が68.0%、「利用していない」が28.8%となっています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、「利用している」は重度になるほど割合が高くなり、要介護3以上で85.5%となっています。

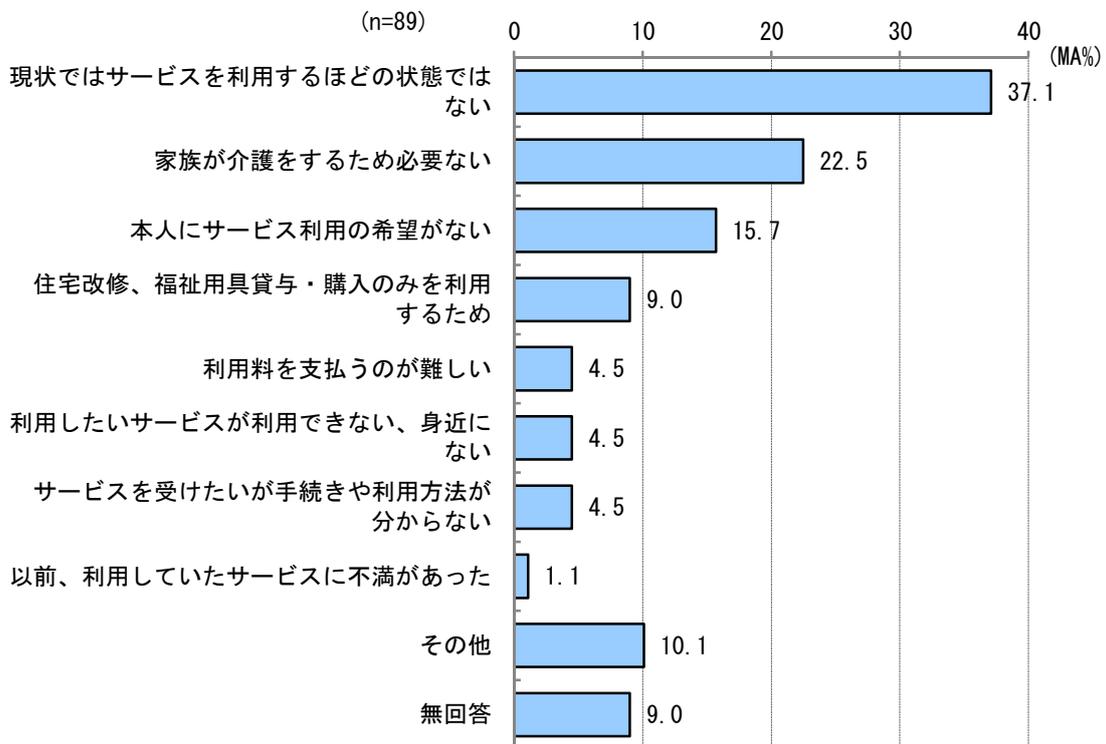


(14) 介護保険サービスを利用していない理由

問14 【問13で「2.（介護保険サービスを）利用していない」と回答した方にお伺いします。】

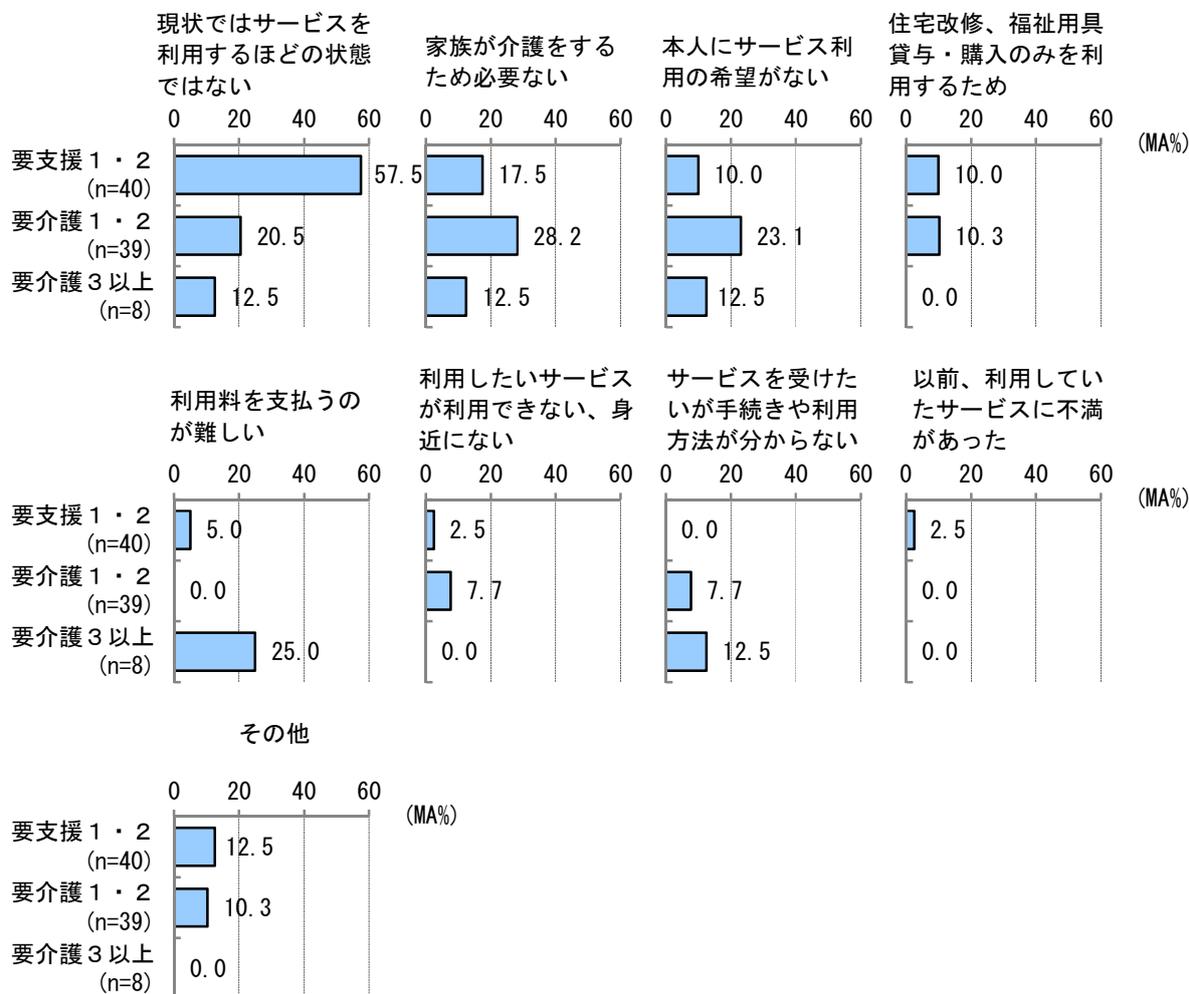
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数選択可）

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していないと回答した人にその理由をたずねると、「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」が37.1%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が22.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が15.7%となっています。



【要介護度別】

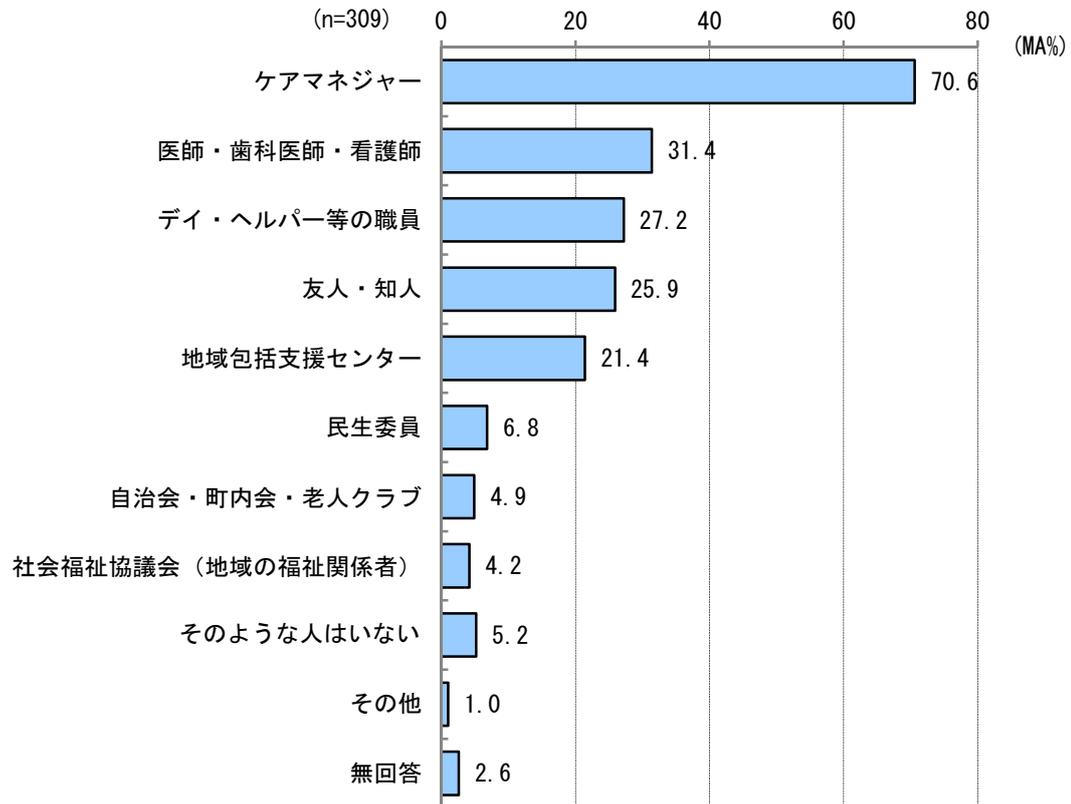
要介護度別でみると、要支援1・2では「現状ではサービスを利用するほどの状態ではない」(57.5%)が最も多く、要介護1・2では「家族が介護をするため必要ない」(28.2%)、要介護3以上では「利用料を支払うのが難しい」(25.0%)が最も多くなっています。



（15）家族以外で相談する相手

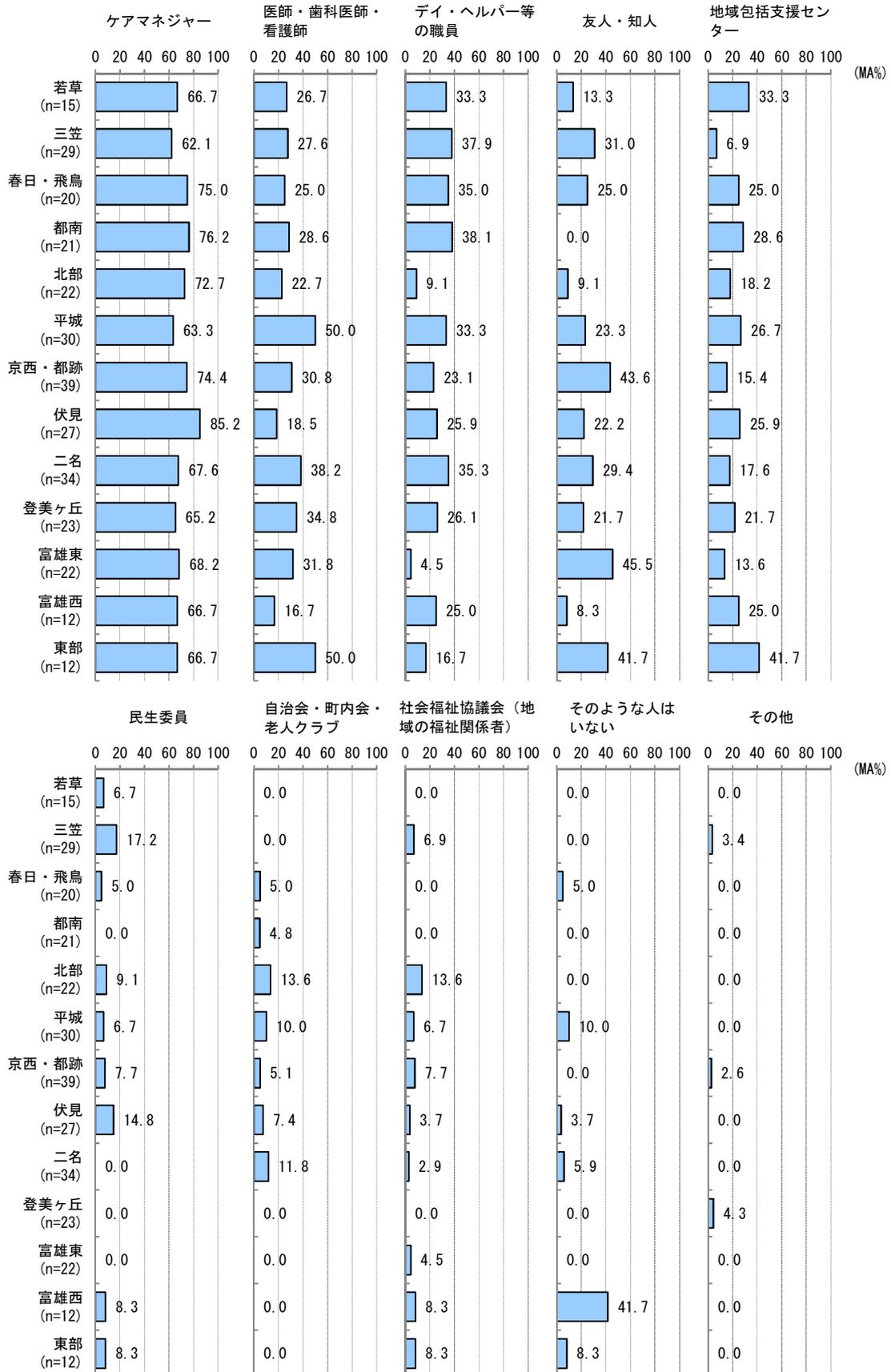
問15 家族以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（複数選択可）

家族以外で相談する相手については、「ケアマネジャー」が70.6%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が31.4%、「デイ・ヘルパー等の職員」が27.2%となっています。



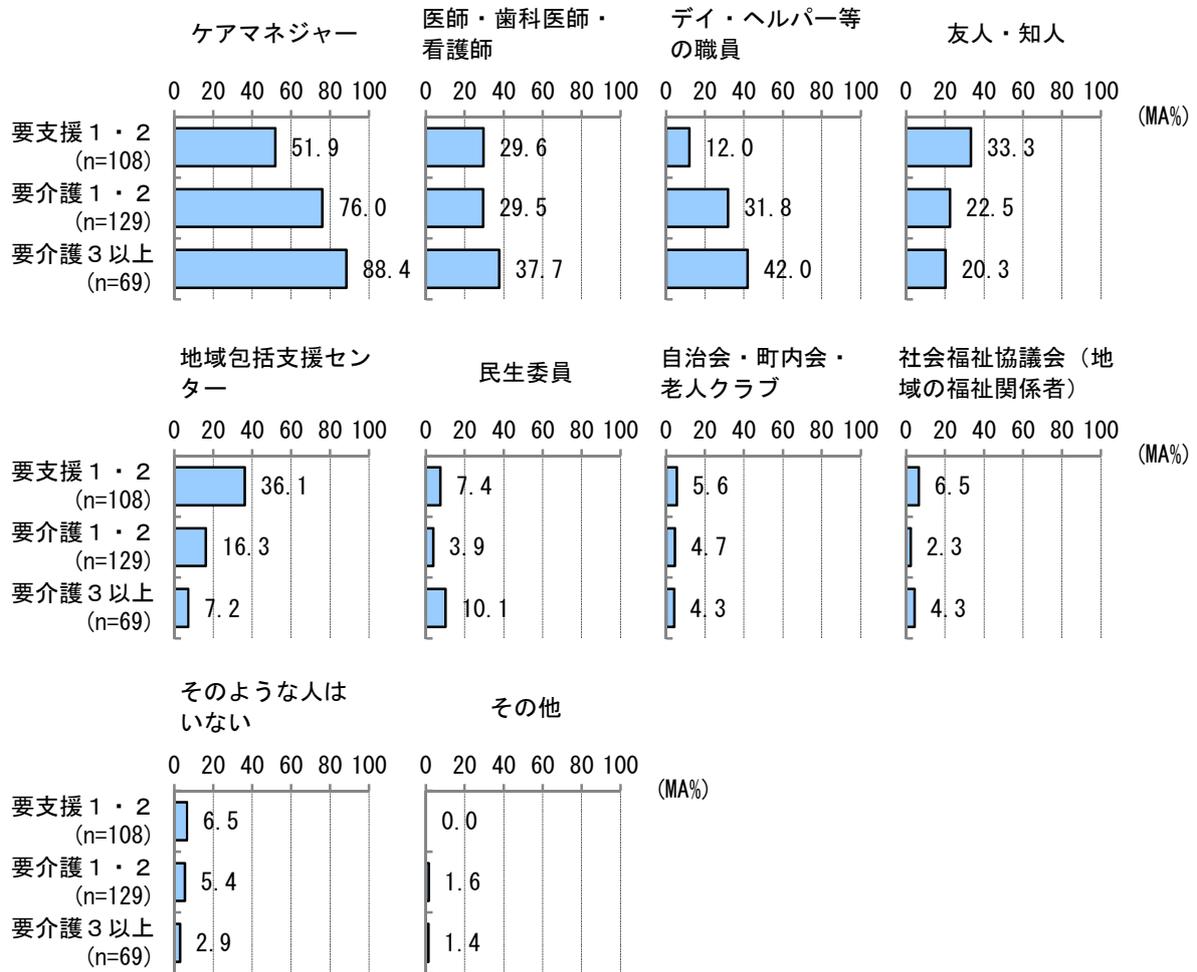
【生活圏域別】

生活圏域別でみると、三笠圏域は他の圏域に比べて「地域包括支援センター」(6.9%)が低いですが、「民生委員」(17.2%)は高くなっています。富雄西圏域は「そのような人はいない」(41.7%)が他の圏域に比べ高くなっています。



【要介護度別】

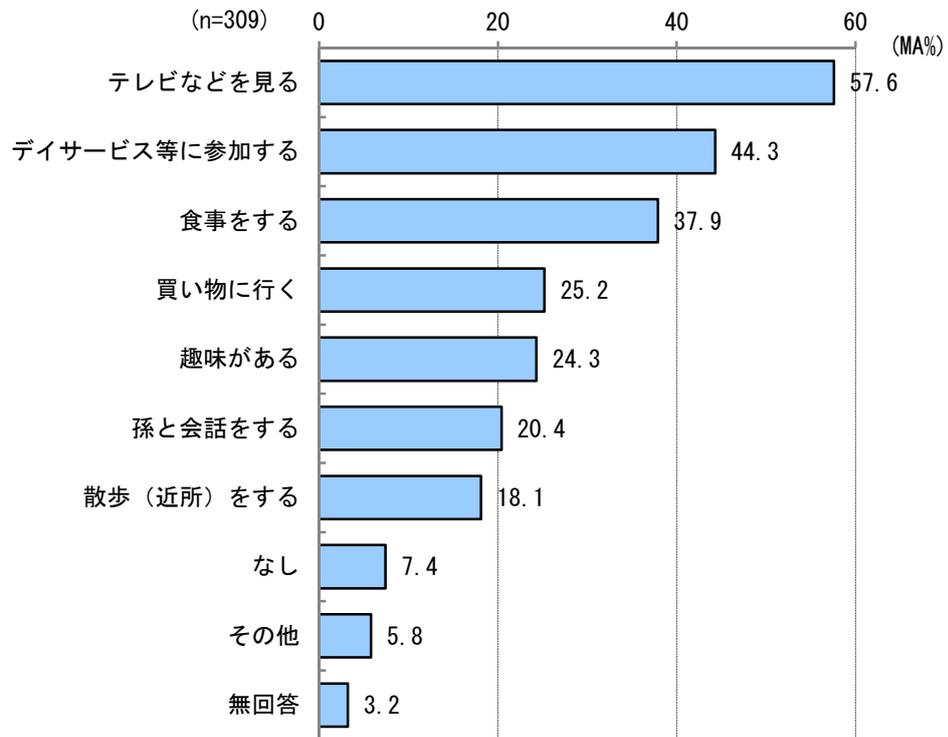
要介護度別でみると、いずれも「ケアマネジャー」が最も多く、重度になるほど割合が高くなっており、「デイ・ヘルパー等の職員」も高くなっていますが、「地域包括支援センター」は低くなっています。



（16）日ごろの楽しみ

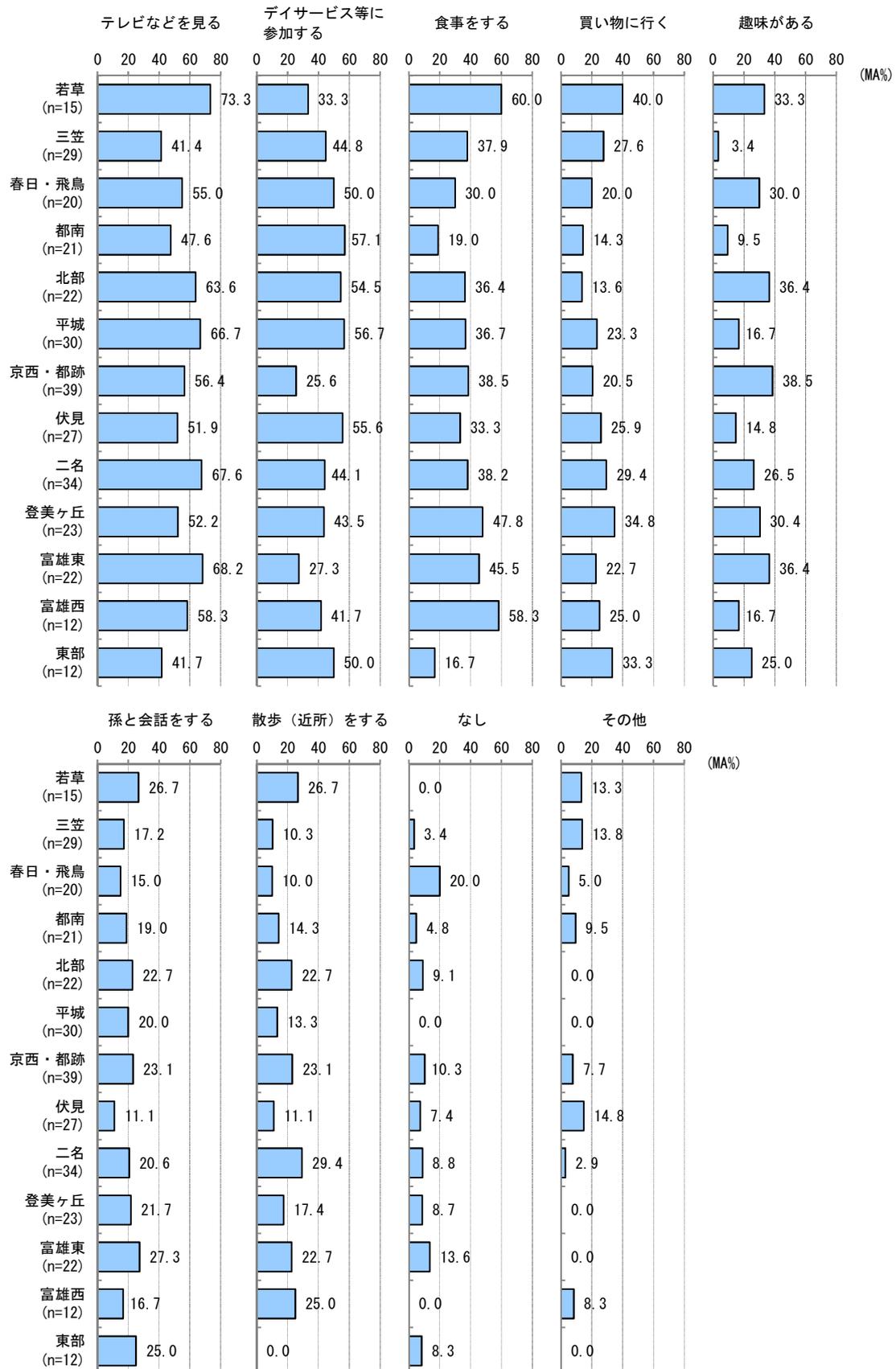
問16 日ごろ、楽しみにされていることはありますか。（複数選択可）

日ごろの楽しみについては、「テレビなどを見る」が57.6%で最も多く、次いで「デイサービス等に参加する」が44.3%、「食事をする」が37.9%となっています。



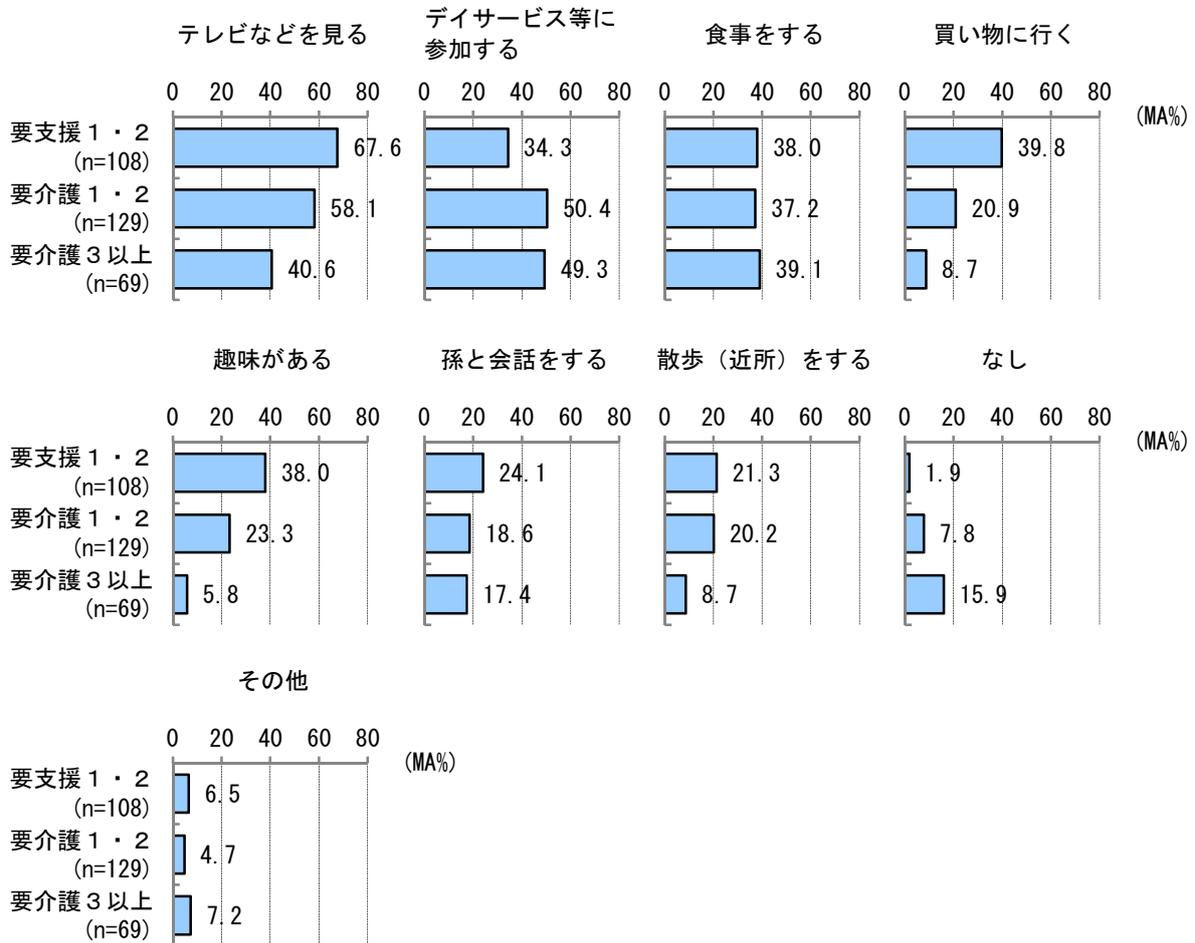
【生活圏域別】

生活圏域別でみると、三笠圏域や都南圏域、伏見圏域、東部圏域は「デイサービス等に参加する」が最も多くなっています。「なし」では、春日・飛鳥圏域（20.0%）が他の圏域に比べ高くなっています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1・2では「テレビなどを見る」が最も多く、要介護3以上では「デイサービス等に参加する」が最も多くなっています。なお、「テレビなどを見る」「買い物に行く」「趣味がある」「孫と会話をする」「散歩（近所）をする」は重度になるほど割合が低くなっています。

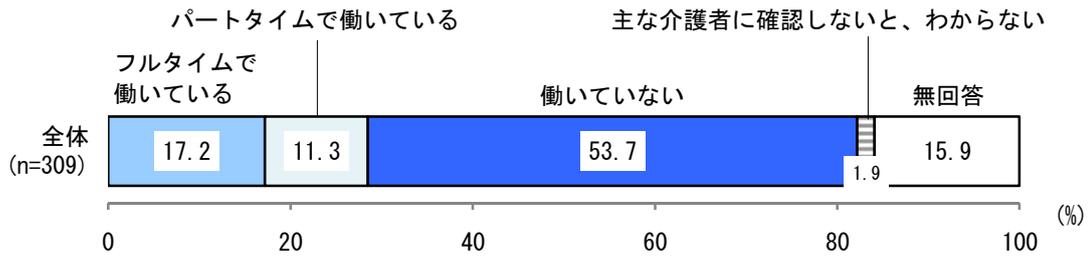


### 3. 主な介護者について

#### （1）介護者の勤務形態

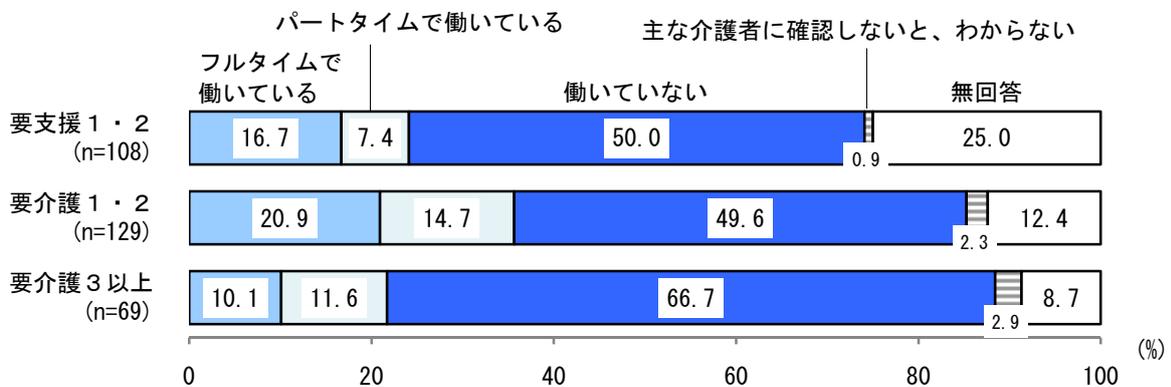
問1 主な介護者様の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

介護者の勤務形態については、「働いていない」が53.7%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が17.2%、「パートタイムで働いている」が11.3%となっています。



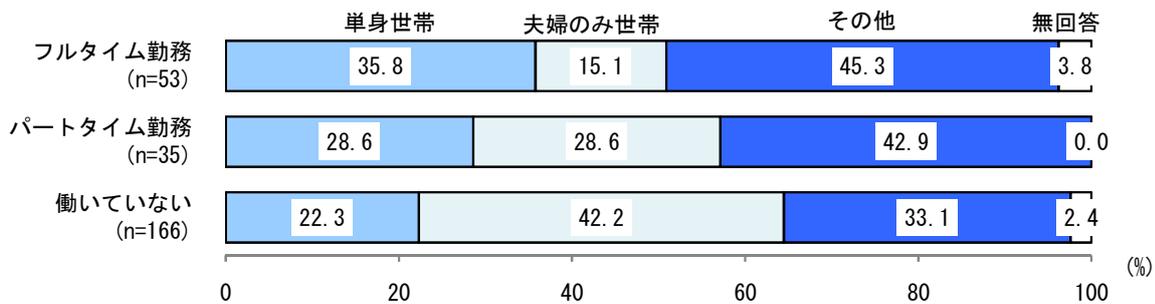
#### 【要介護度別】

要介護度別でみると、いずれの要介護度も「働いていない」が半数前後を占めて最も多くなっています。また、「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」とも要介護1・2で最も高くなっています。



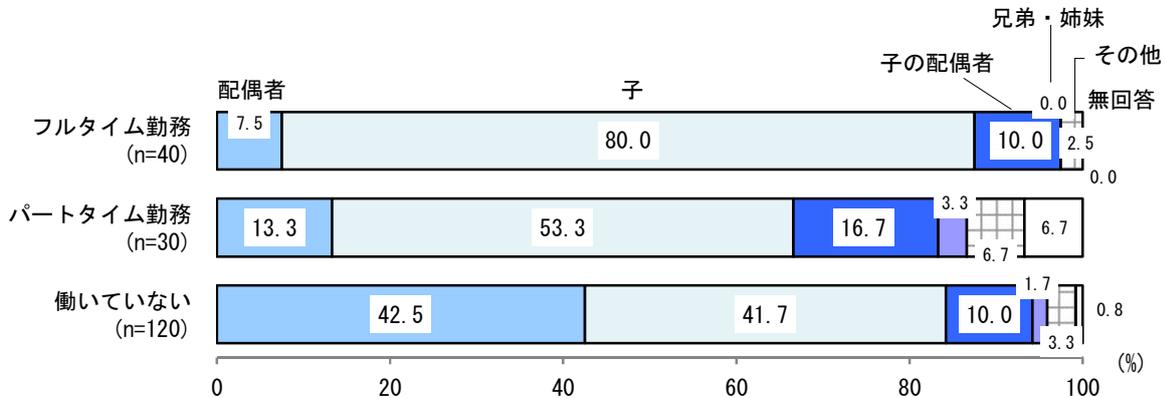
【介護者の勤務形態別 世帯類型】

介護者の勤務形態別で、要介護者の世帯類型をみると、フルタイム勤務・パートタイム勤務とも「その他」の世帯が4割台で最も多くなっています。これに次いで、フルタイム勤務は「単身世帯」が35.8%、パートタイム勤務は「単身世帯」と「夫婦のみ世帯」がともに28.6%となっており、「単身世帯」ではフルタイム勤務のほうが高くなっています。一方、働いていない介護者では「夫婦のみ世帯」が42.2%で最も多く、「単身世帯」は22.3%で働いている介護者の割合に比べ低くなっています。



【介護者の勤務形態別 主な介護者】

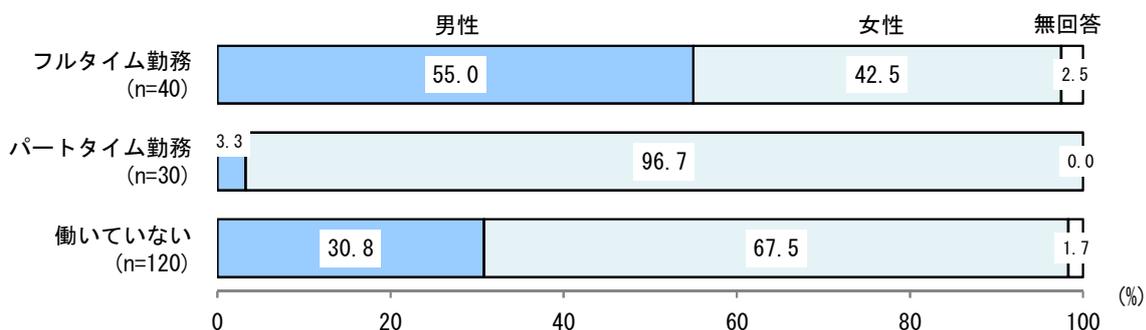
介護者の勤務形態別で、主な介護者の続柄をみると、フルタイム勤務・パートタイム勤務とも「子」が最も多く、「子の配偶者」を合すると、フルタイム勤務は90.0%、パートタイム勤務は70.0%を占めています。一方、働いていない介護者では「配偶者」が42.5%で最も多くなっています。



※「孫」は回答がなかったため省略した。

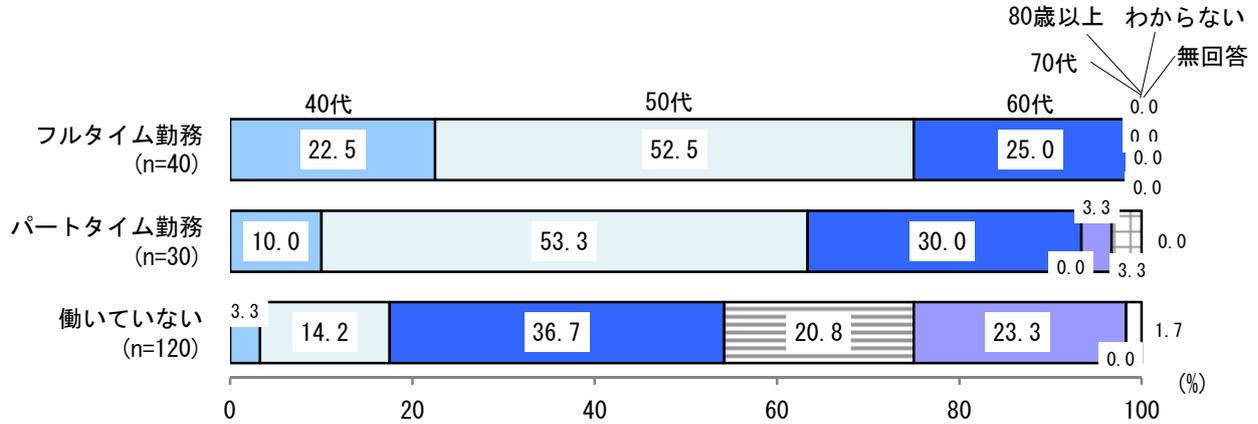
【介護者の勤務形態別 主な介護者の性別】

介護者の勤務形態別で、主な介護者の性別をみると、フルタイム勤務は「男性」が55.0%、「女性」が42.5%で、「男性」のほうが12.5ポイント高くなっています。パートタイム勤務は「女性」が96.7%を占めています。



【介護者の勤務形態別 主な介護者の年齢】

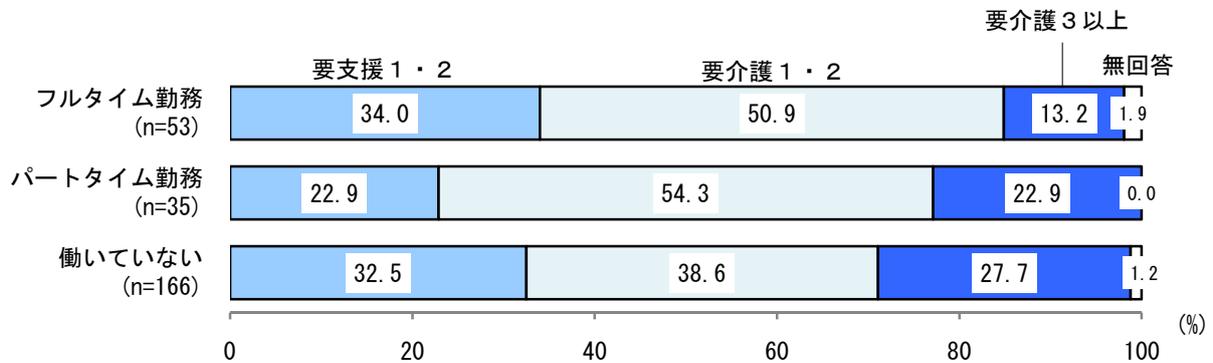
介護者の勤務形態別で、主な介護者の年齢をみると、フルタイム勤務・パートタイム勤務とも「50代」が最も多く、次いで「60歳代」となっています。一方、働いていない介護者では「70代」「80歳以上」が働いている介護者に比べ高い割合になっています。



※「20歳未満」「20代」「30代」は回答がなかったため省略した。

【介護者の勤務形態別 要介護者の要介護度】

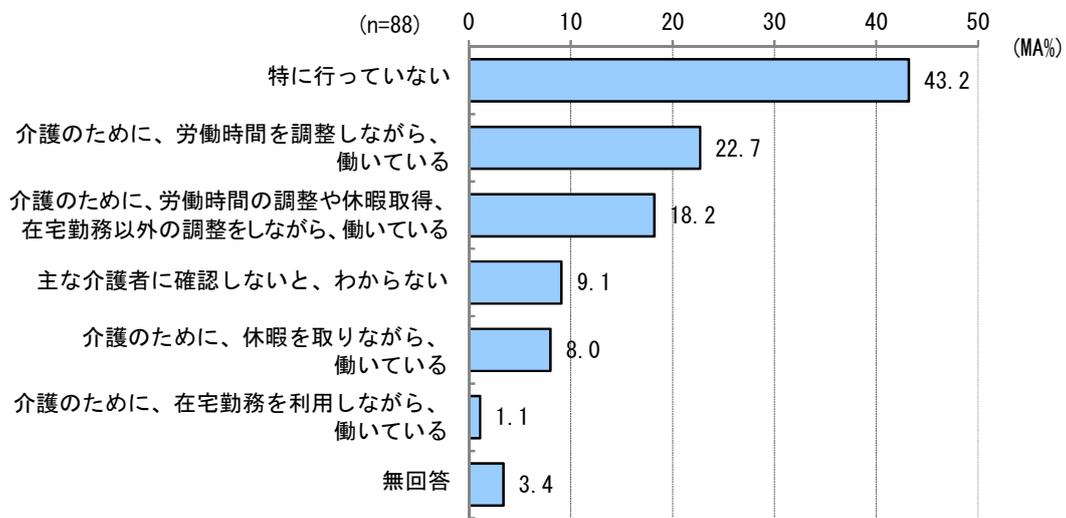
介護者の勤務形態別で、要介護者の要介護度をみると、就労の有無にかかわらず「要介護1・2」が最も多くなっています。なお、「要介護3以上」では、働いていない介護者が27.7%で、働いている介護者に比べ高くなっています。



（2）働き方についての調整等の状況

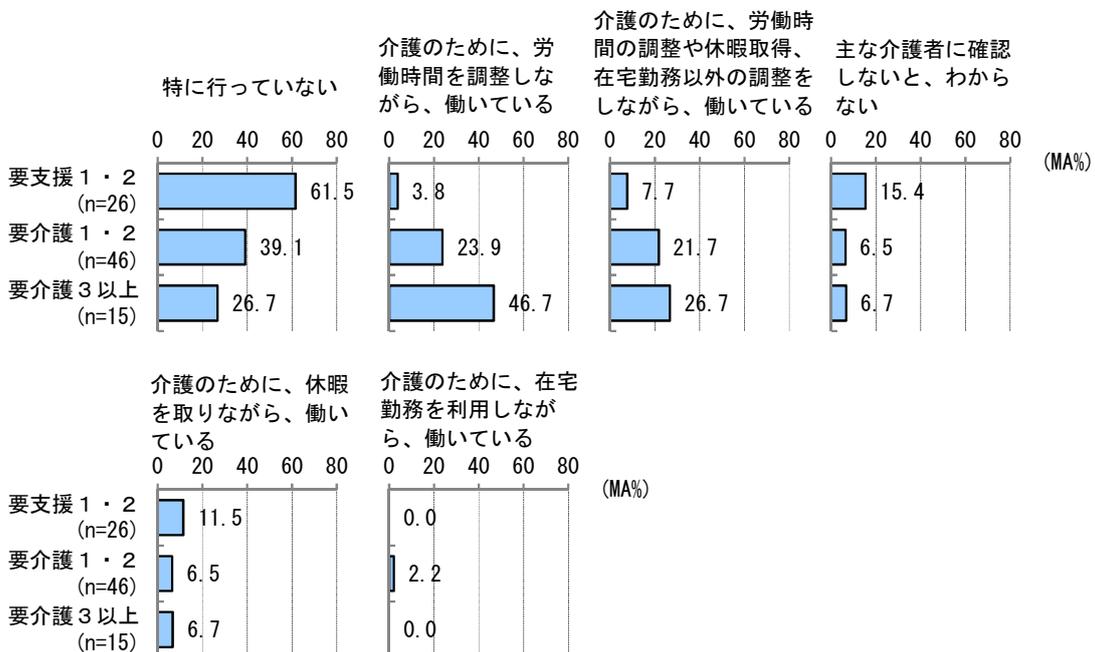
問2 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】  
 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしてい  
 ますか。（複数選択可）

介護者が働いていると回答した人に、介護をするにあたっての働き方についての調整等  
 の状況をたずねると、「特に行っていない」が43.2%で最も多く、次いで「介護のために、  
 労働時間を調整しながら、働いている」が22.7%、「介護のために、労働時間の調整や休暇  
 取得、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」が18.2%となっています。



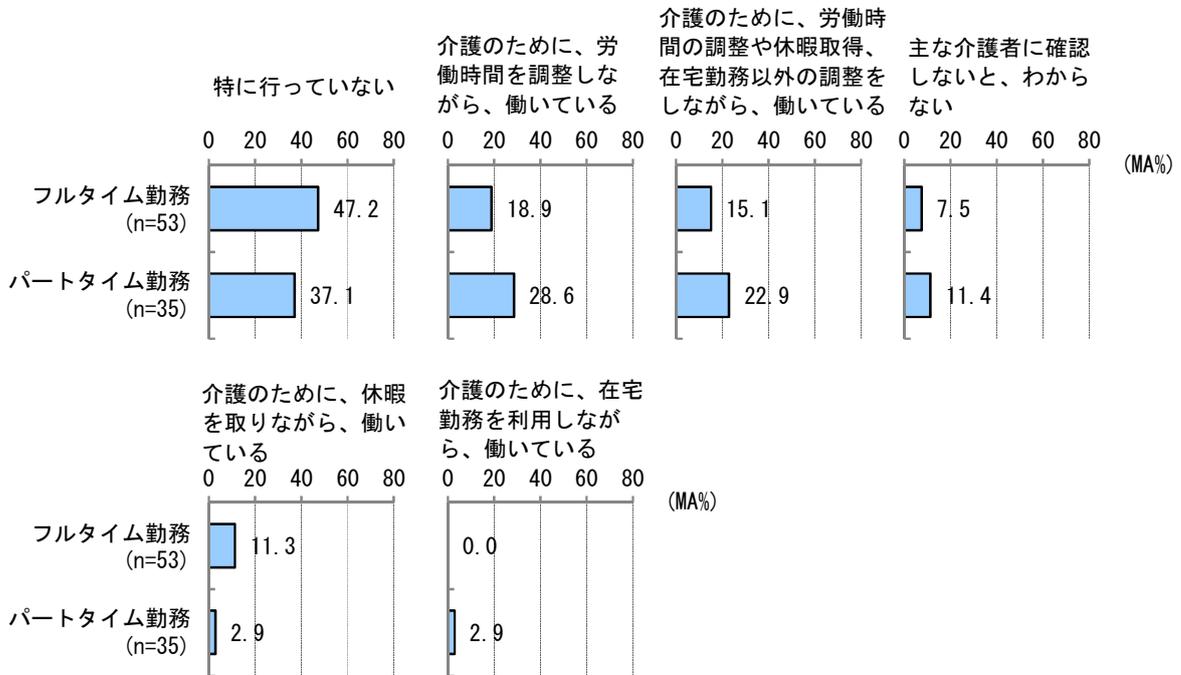
【要介護度別】

要介護度別でみると、「特に行っていない」は軽度になるほど割合が高く、「介護のため  
 に、労働時間を調整しながら、働いている」と「介護のために、労働時間の調整や休暇取  
 得、在宅勤務以外の調整をしながら、働いている」は重度になるほど高くなっています。



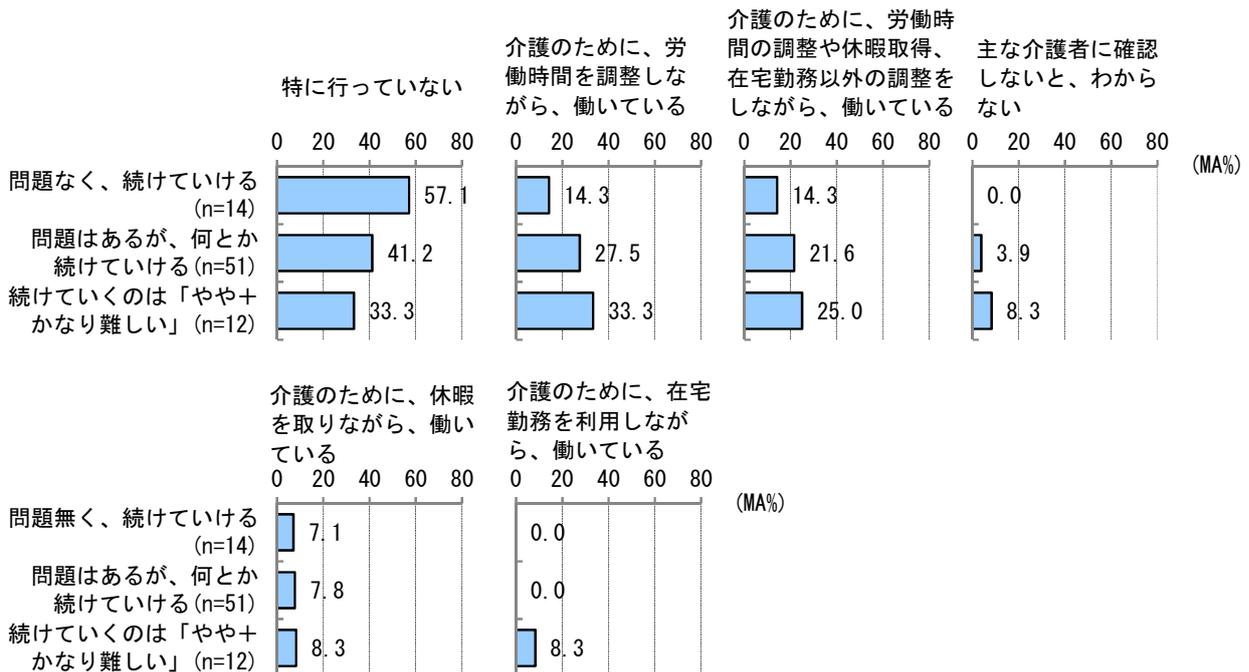
【介護者の勤務形態別】

介護者の勤務形態別でみると、「特に行っていない」は、フルタイム勤務が47.2%、パートタイム勤務が37.1%で、フルタイム勤務のほうが10.1ポイント高くなっています。また、「休暇を取る」はフルタイム勤務のほうが高くなっていますが、「労働時間の調整」「在宅勤務の利用」「それら以外の調整」ではパートタイム勤務のほうが高くなっています。



【就労継続見込み別】

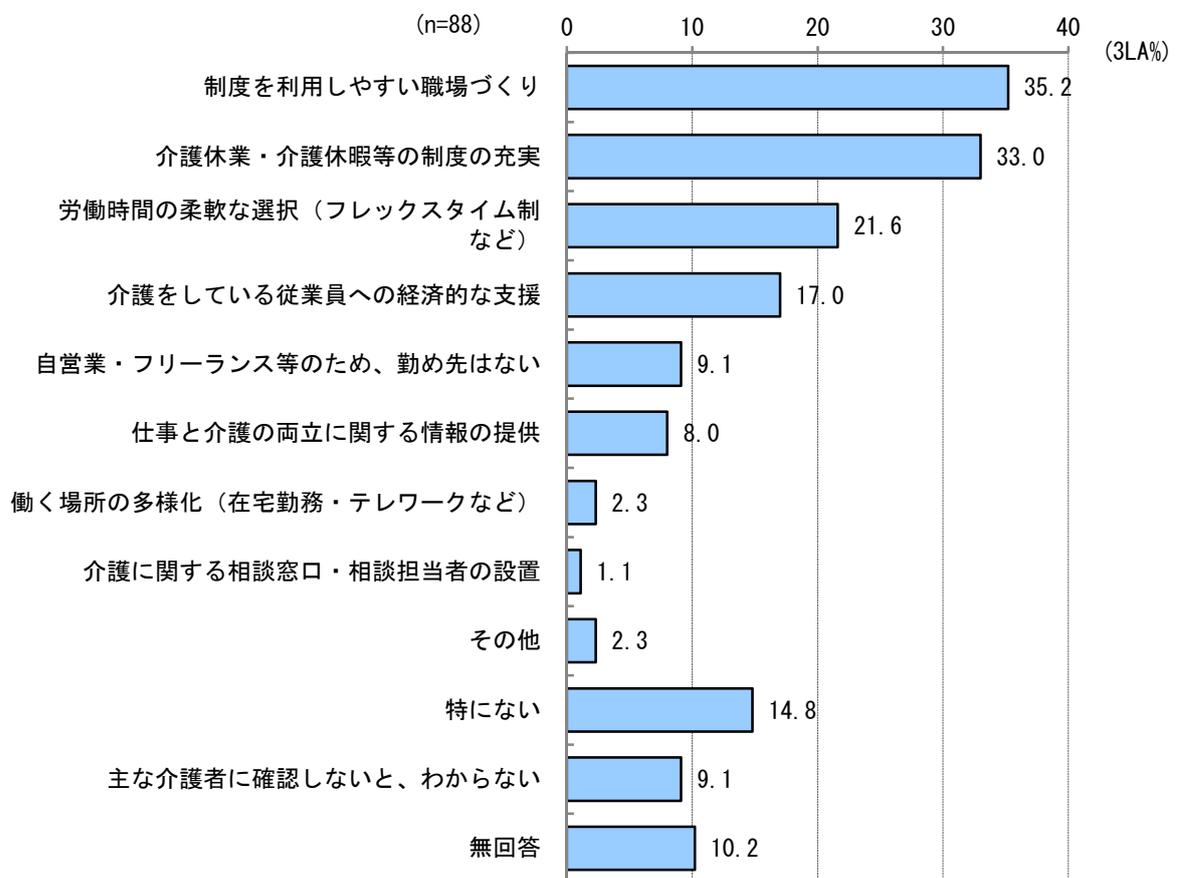
就労継続見込み別でみると、継続が見込める人ほど「特に行っていない」が高くなっていますが、続けていくのは難しい人では「特に行っていない」と「介護のために、労働時間を調整しながら、働いている」が同率で最も多くなっています。



（3）仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

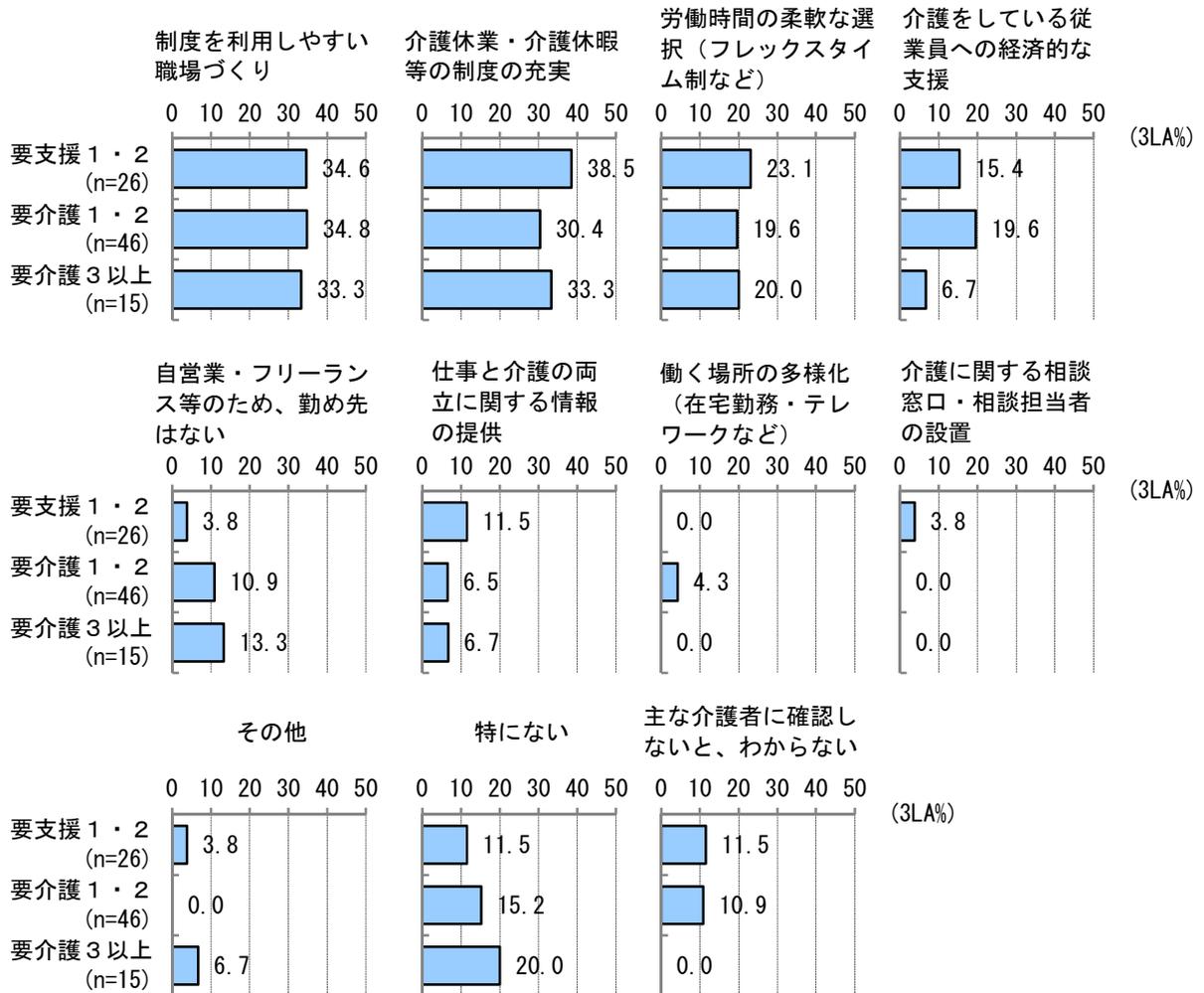
問3 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】  
 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

介護者が働いていると回答した人に、仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援についてたずねると、「制度を利用しやすい職場づくり」が35.2%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.6%となっています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、要支援1・2は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(38.5%)が最も多く、要介護1・2は「制度を利用しやすい職場づくり」(34.8%)、要介護3以上は「制度を利用しやすい職場づくり」と「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(ともに33.3%)が最も多くなっています。しかし、「特にない」は重度になるほど高くなっています。

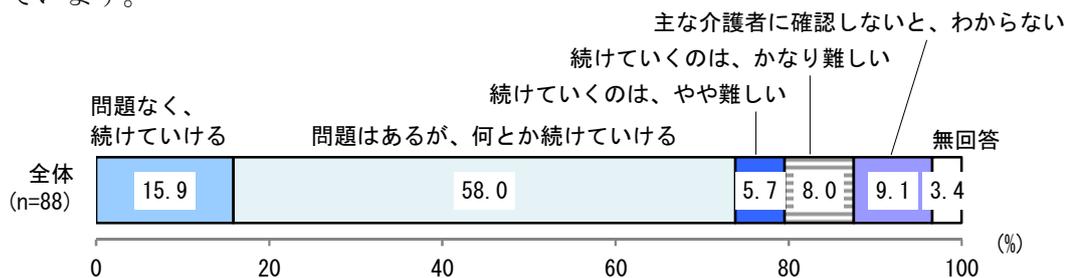


（4）今後も働きながら介護を続けていけるか

問4 【問1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。】

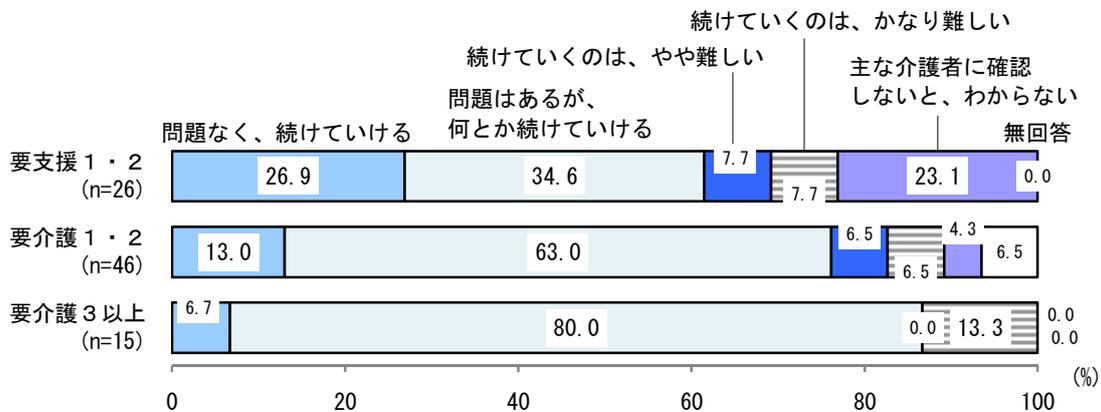
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

介護者が働いていると回答した人に、今後も働きながら介護を続けていけるかについてたずねると、「問題はあるが、何とか続けていける」が58.0%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が15.9%となっており、両者をあわせた『継続を見込める』割合は73.9%となっています。



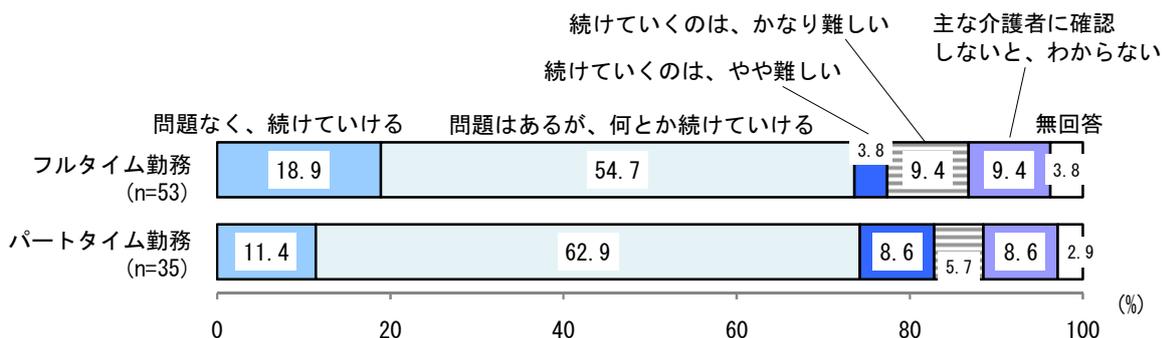
【要介護度別】

要介護度別でみると、「問題なく、続けていける」は重度になるほど割合は低くなっていますが、『継続を見込める』割合は重度になるほど高くなっています。



【介護者の勤務形態別】

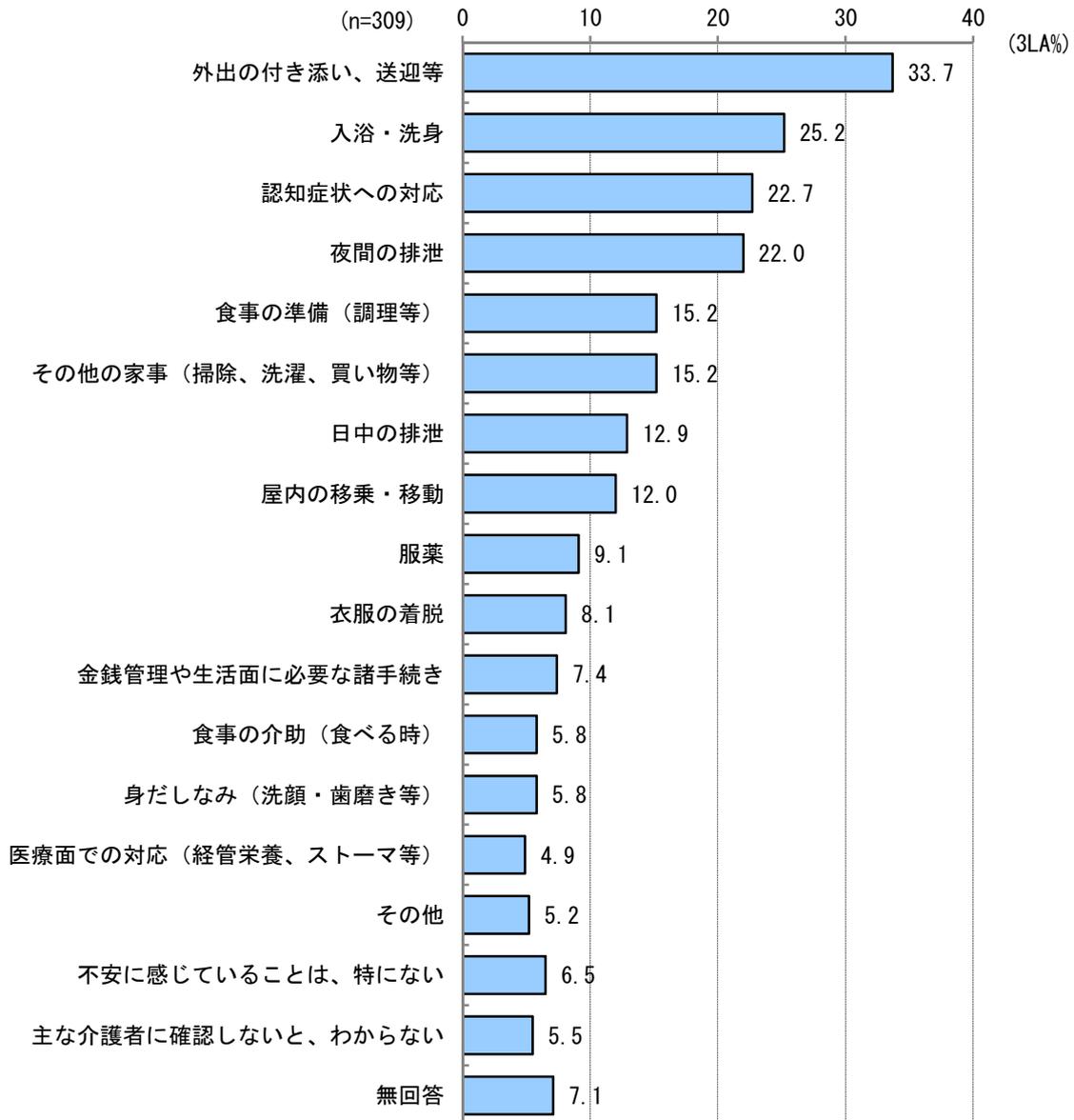
介護者の勤務形態別でみると、フルタイム勤務・パートタイム勤務とも『継続を見込める』割合は7割台を占めていますが、「問題なく、続けていける」は、フルタイム勤務のほうが7.5ポイント高くなっています。



（5）介護者が不安に感じる介護等について

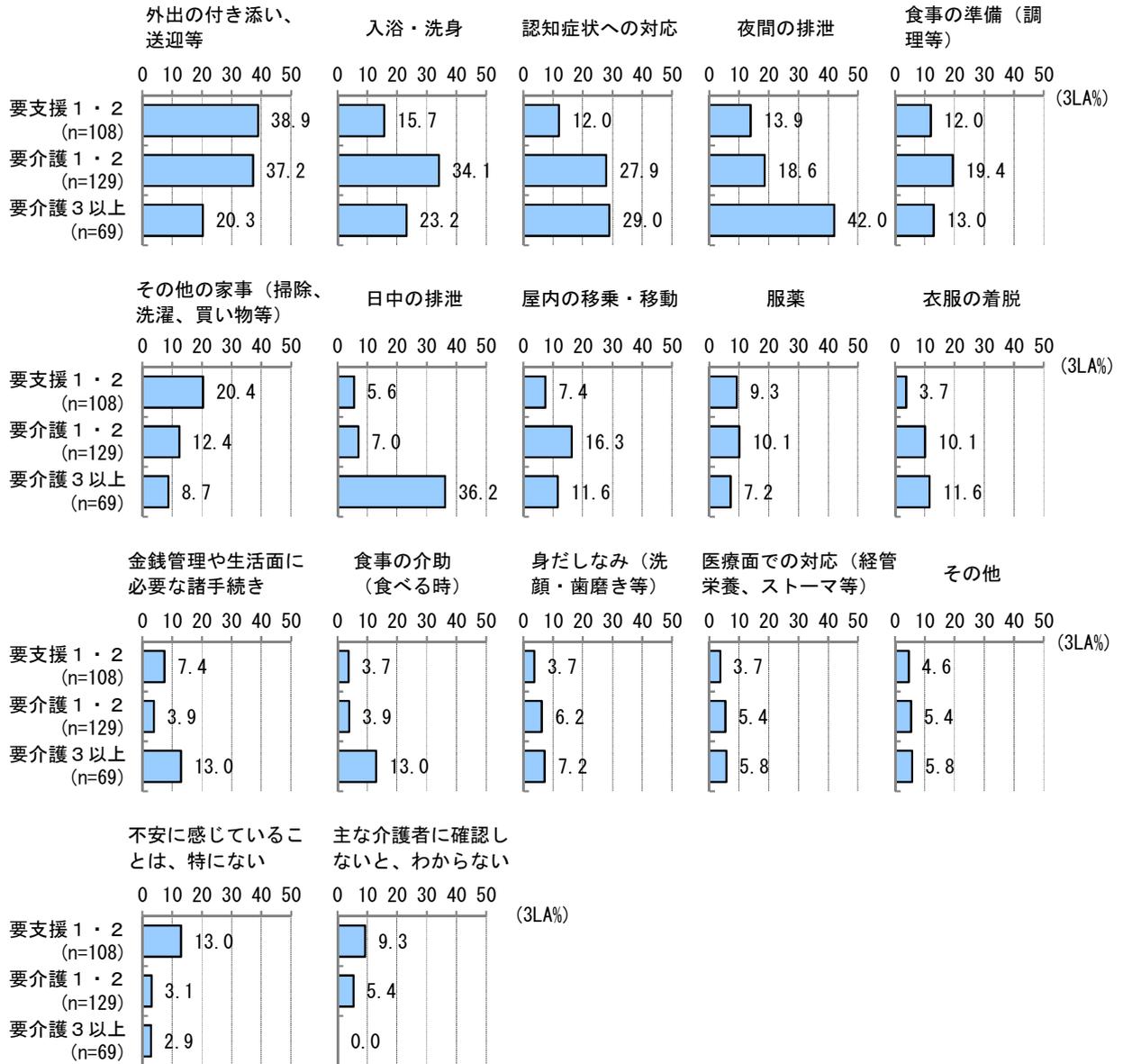
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません。）（3つまで選択可）

介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が33.7%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が25.2%、「認知症状への対応」が22.7%となっています。



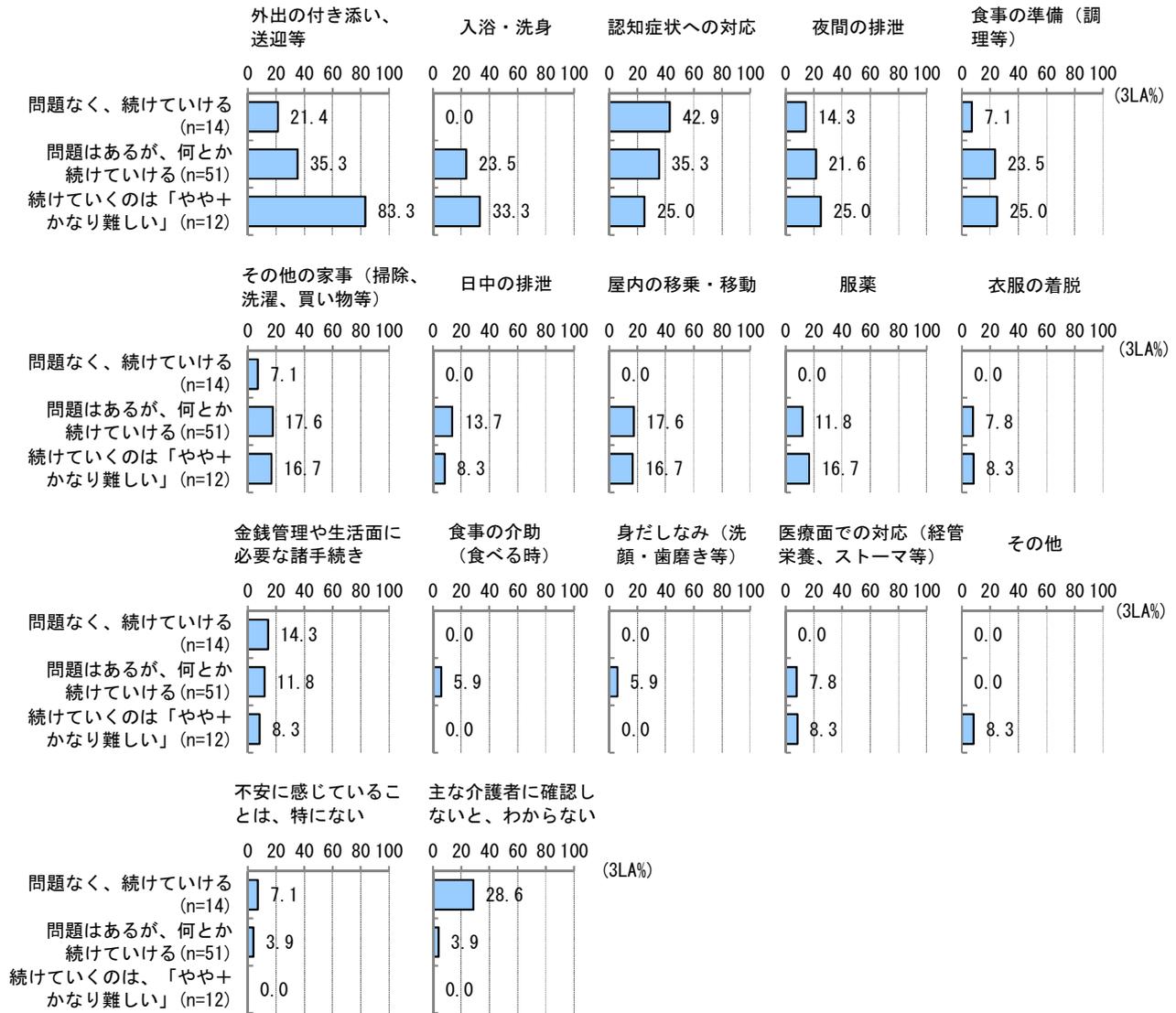
【要介護度別】

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1・2は「外出の付き添い、送迎等」が約4割で最も多くなっています。要介護3以上では「夜間の排泄」が42.0%で最も多く、次いで「日中の排泄」が36.2%、「認知症状への対応」が29.0%となっています。



【就労継続見込み別】

就労継続見込み別でみると、継続が困難な人ほど「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」「食事の準備（調理等）」「服薬」「衣服の着脱」の割合が高くなっていますが、「認知症状への対応」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合は低くなっています。なお、「不安に感じていることは、特にない」も低くなっています。



## Ⅲ 要点課題の概要と考察

### ○在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

- ◆世帯類型は、「単身世帯」が31.4%、「夫婦のみ世帯」が32.0%、「その他」の世帯が34.3%となっています。(再掲)
- ◆施設等の検討状況について、「検討していない」が58.9%で最も多く、次いで「検討中」が20.7%、「申請済み」が10.4%となっています。また、「検討中」は、単身世帯で24.7%、夫婦のみ世帯で23.2%となっています。しかし、「検討していない」は、要支援1・2、要介護1・2は過半数を占め、要介護3以上でも42.0%と多くなっています。「検討中」では要介護1・2が25.6%となっています。
- ◆介護者が不安を感じる介護について、要介護度の重度化に伴う変化をみると、要支援1・2と要介護1・2は「外出の付き添い、送迎等」が約4割で最も多いです。要介護3以上では「夜間の排泄」が42.0%で最も多く、次いで「日中の排泄」が36.2%、「認知症状への対応」が29.0%となっています。
- ◆サービス利用の組み合わせについて、要介護度が重度化するほど「訪問系のみ」と「通所系・短期系のみ」は低くなっていますが、「訪問系を含む組み合わせ」は高くなっています。また、認知症自立度が重度化するほど「訪問系のみ」が低くなっています。なお、自立度Ⅱは「通所系・短期系のみ」(44.6%)、自立度Ⅲ以上では「訪問系を含む組み合わせ」(33.3%)が最も多くなっています。

#### 《考察》

- ▽要介護者の中には、単身世帯や夫婦のみ世帯の人が多く、施設の入所・入居を検討していない人も多くみられることから、介護者の負担を軽減するために訪問系サービスの整備と利用促進が必要と考えられます。
- ▽なお、重度の要介護者の在宅生活を支える仕組みとして、定期巡回・随時対応型訪問介護看護や夜間訪問介護などの整備・普及を進めることにより、「(日中・夜間の)排泄」や「認知症状への対応」に係る介護者の不安を軽減することに効果があると考えられます。

### ○仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

- ◆介護を理由に仕事を辞めた介護者について、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」は7.2%、「主な介護者が転職した」は1.4%となっており、主な介護者以外の家族・親族の離職の割合も合わせると約1割となっています。
- ◆フルタイム勤務で働いている介護者について、保険外の支援・サービスを「利用していない」人が45.3%と多くなっていますが、今後の在宅生活の継続のためにサービスを利用したい人は7割以上と多くなっています。
- ◆働き方の調整状況について、就労の継続が見込める人ほど「特に行っていない」割合が高くなっています。一方、就労の継続が困難な人ほど「労働時間を調整」する割合が高くなっ

ています。

- ◆就労継続見込みの状況について、要介護度が重度化するほど「問題なく、続けていける」は低くなっていますが、「問題はあるが、何とか続けていける」も含めた『継続が見込める』割合は高くなっています。
- ◆介護者が不安を感じる介護について、就労の継続が困難な人ほど「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」などの割合が高くなっています。

#### 《考察》

- ▽介護が原因で離職した介護者は約1割となっており、要介護度が重度化するほど、現在の介護の状況で就労の継続に何らかの問題がある、または継続に困難を感じている介護者の割合が高くなっています。今後は、介護による身体的・精神的負担を軽減し、介護を理由とする離職者をゼロにするための在宅介護を支援するサービス等の充実が求められます。
- ▽就労継続の見込みについて、「問題なく、続けていける」と回答した介護者は、働き方の調整を特に行っていない人が多く、要介護者が軽度なことや支援ニーズが低いことが考えられます。一方、就労の継続が困難な介護者ほど「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」「夜間の排泄」などの割合は高くなっており、介護者の多様な就労状況に合わせた柔軟な対応として小規模多機能型居宅介護などの包括的サービスを整備することが重要なポイントになると考えられます。

### ○保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

- ◆保険外の支援・サービスの利用状況について、要介護度にかかわらず「利用していない」が最も多く、要介護3以上は44.9%、要支援1・2は43.5%となっていますが、要介護1・2は40.3%と他の要介護度に比べ低くなっています。保険外のサービスを利用している人では、要支援1・2と要介護1・2は「配食」「掃除・洗濯」が最も多く、要介護3以上は「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。
- ◆今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、要支援1・2と要介護1・2は「外出同行（通院、買い物など）」が最も多く、要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。なお、要介護1・2は他の要介護度に比べると、多くのサービスで高い割合になっています。

#### 《考察》

- ▽今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは「要介護1・2」のニーズが高い傾向がみられ、今後重度化する可能性があることから、今後の課題として中重度を対象とした各種の支援・サービスの確保が重要なポイントになると考えられます。

## ○将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

- ◆要支援1・2では、単身世帯で「訪問系のみ」、夫婦のみ世帯やその他の世帯で「通所系・短期系のみ」が最も多くなっていますが、要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。
- ◆家族や親族からの介護頻度について、単身世帯では「ない」(32.0%)が最も多いですが、次いで「ほぼ毎日ある」(26.8%)となっており、近居の家族等による介護が行われているケースがうかがえます。単身世帯の要介護者は、要支援1・2では「ない」(39.0%)が最も多いですが、要介護1・2、要介護3以上では「ほぼ毎日ある」が3～4割台で最も多くなっています。
- ◆施設等を検討中と回答した人は、世帯類型別で単身世帯(24.7%)が最も高く、要介護度別では要介護1・2(25.6%)が最も高くなっています。

### 《考察》

- ▽単身世帯の要介護者は、要介護度が重度化するほど、家族や親族による介護頻度が増加し、「訪問系」を含めたサービス利用も多くなることから、在宅生活を支えていくために、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を進めるなどの対策が考えられます。
- ▽同居の家族がいる世帯の要介護者は、レスパイト機能をもつ「通所系」や「短期系」を含むサービス利用が多いと考えられます。また、重度化に伴って「訪問系を含む組み合わせ」のサービス利用が多くなることから、夫婦のみ世帯・その他の世帯の在宅生活を支えていくために小規模多機能型居宅介護の整備を進めるなどの対策が考えられます。

## ○医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

- ◆主な介護者が行っている介護で「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」は14.8%です。
- ◆訪問診療を利用している人は、要介護度が重度化するほど多くなり、要介護3以上で26.1%となっています。
- ◆訪問診療の利用有無にかかわらず「訪問系を含む組み合わせ」のサービス利用が最も多くなっていますが、訪問診療を利用していない人では「通所系・短期系のみ」のサービス利用も多くなっています。

### 《考察》

- ▽要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が高くなることから、今後は「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」の増加が見込まれます。よって、在宅での介護・医療の担い手の確保に向けた取組のほか、医療ニーズに対応できる介護保険サービスの需要が高まることも視野に入れ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の整備を進めていくなどの対策が重要になると考えられます。

## 資料（調査票）

# 奈良市在宅介護実態調査

### 【ご協力のお願い】

日頃から市政の推進に温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この調査は、介護に取り組む家族が介護による離職をなくしていくために介護サービスの在り方を検討することを目的として、要介護認定を受けている人を対象に実施するものです。

ご記入いただいた内容につきましては、個人情報保護に十分な注意を払い、本調査の目的以外には使用しませんので、率直なご意見をお聞かせください。

なお、この調査へのご協力は任意です。ご協力いただけない場合でも、何ら不利益になることはありません。

ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成29年6月

奈良市

### ＜ご回答にあたってのお願い＞

- ◎ 宛名のご本人（認定調査対象者）がご記入をお願いします。何らかの事情によりご本人の回答が難しい場合は、ご家族（介護者）の方に代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わってご記入ください。
- ◎ 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。「1つを選択」「複数選択可」など回答方法を指定していますので、ご注意のうえ、ご回答ください。
- ◎ 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内になるべく具体的にご記入ください。
- ◎ ご記入いただいた調査票は、6月19日（月）までに、同封の返信用封筒（切手は不要）によりご返送ください。なお、封筒には差出人の氏名の記入は不要です。
- ◎ ご記入いただいた調査票の集計・分析に際して、要介護認定データの活用にご同意していただける場合は、裏面の『「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データの活用に係る同意書』にご署名をお願いいたします。

[この調査についてのお問い合わせ先]

奈良市 福祉部 介護福祉課 電話：0742-34-5422

FAX：0742-34-2621

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号 奈良市役所北棟1階

(同意先) 奈良市長

「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データの活用に係る同意書

私は、「在宅介護実態調査」に係る要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）の活用について、以下の事項を確認のうえ、同意します。

記

■ 要介護認定データの利用について

今回実施の在宅介護実態調査のほか、先日実施いたしました認定調査に係る、要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）につきましても、奈良市における高齢者等支援施策の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。本人の許可なく、その他の目的での使用は致しません。

■ アンケート調査の回答内容の取扱いについて

アンケート調査でご回答頂いた内容（被保険者番号を含む）は、集計・分析を委託する株式会社サーベイリサーチセンター（<http://www.surece.co.jp/>）に預託しますが、情報は適切に管理させていただきます。

以 上

平成 年 月 日

ご署名 \_\_\_\_\_

**A票****調査対象者ご本人様（認定調査対象者）について、お伺いします。**

問1 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

- |         |           |                                |
|---------|-----------|--------------------------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他（                      ） |
|---------|-----------|--------------------------------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む。）（1つを選択）

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. ない（→問8へ）                      |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない（→問3へ） |
| 3. 週に1～2日ある（→問3へ）                |
| 4. 週に3～4日ある（→問3へ）                |
| 5. ほぼ毎日ある（→問3へ）                  |

**【問2で「2.」～「5.」までのいずれかを回答した方にお伺いします。「1.」を選択した方は問8へおすすみください。】**

問3 主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

- |        |          |                                |
|--------|----------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子     | 3. 子の配偶者                       |
| 4. 孫   | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他（                      ） |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代   | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代   | 6. 60代   |
| 7. 70代   | 8. 80歳以上 | 9. わからない |



【ここから再び、全員の方がご回答ください。】

問 8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理             |
| 3. 掃除・洗濯              | 4. 買い物（宅配は含まない）   |
| 5. ゴミ出し               | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ        |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場     | 10. その他           |
| 11. 利用していない           | ( )               |

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食                 | 2. 調理             |
| 3. 掃除・洗濯              | 4. 買い物（宅配は含まない）   |
| 5. ゴミ出し               | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ        |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場     | 10. その他           |
| 11. 特になし              | ( )               |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

- |                      |
|----------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     |
| 2. 入所・入居を検討している      |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。





**B票****主な介護者様、もしくはご本人様にお伺いします。**

※主な介護者様、もしくは、本人様にご回答・ご記入をお願いします。

問1 主な介護者様の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（1つを選択）

1. フルタイムで働いている （→問2へ）
2. パートタイムで働いている （→問2へ）
3. 働いていない （→問5へ）
4. 主な介護者に確認しないと、わからない （→問5へ）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。  
(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

【ここから再び、全員の方がご回答ください。】

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません。）（3つまで選択可）

〔身体介護〕

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）

〔生活援助〕

12. 食事の準備（調理等）
13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

15. その他
16. 不安を感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

**アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

奈良市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定のための  
高齢者 在宅介護実態調査【結果報告書】

平成29年11月

発行／奈良市 福祉部 介護福祉課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

TEL : (0742) 34-5422 (ダイヤルイン)